



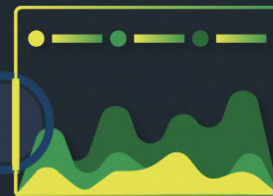
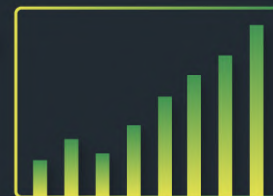
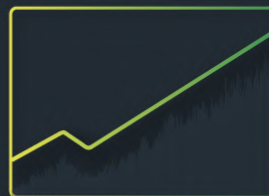
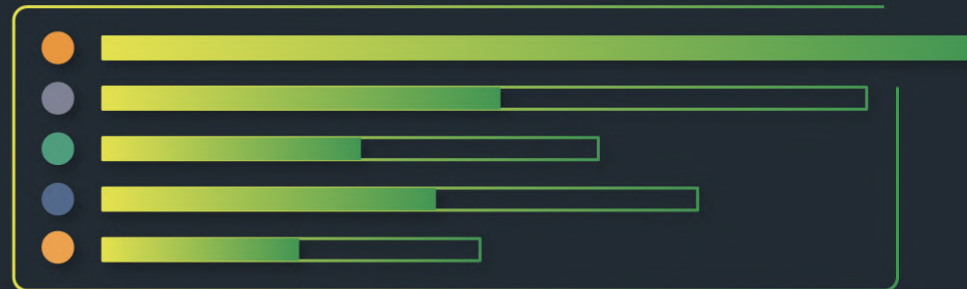
CoinGecko

# 2022年

## 年間仮想通貨 業界レポート

完全版

スポンサー



市場データ。分析。クラウドソース・インサイト。

創業者ノート	2	DeFi分析	23
- 2022年 現物マーケット概観		- 2022年 DeFi概観	
- 2022年 仮想通貨マーケットシェア		- 2022年 価格リターン: DeFi vs 既存金融	
- 2022年 仮想通貨価格リターン		- 2022年 DeFiマルチチェーンマーケットシェア	
- 2022年 トップ15ステーブルコイン概観		- 2022年 DeFiエコシステム概観	
- 2022年 仮想通貨市場合計時価総額 & Bitcoin vs S&P500		- 2022年 クロスチェーンブリッジ 流動性	
- 2022年 仮想通貨アダプションの現状		- 2022年 DeFiハイライト	
- 2022年 注目のイベントタイムライン			
- 2022年 巨額の損失をもたらした流出事件			
- FTX破綻			
Bitcoin分析	13	NFTs	31
- 2022年 BTC価格 vs 取引高		- 2022年 トップ8チェーンのNFT取引高	
- 2022年 Bitcoinマイニングハッシュレート		- 2022年 NFTプラットフォーム取引高	
- 2022年 価格リターン: Bitcoin vs 主要アセットクラス		- 2022年 NFTロイヤリティ	
		- 2022年 注目のNFTコレクション	
		- 2022年 GameFiハイライト	
Ethereum分析	17	取引所	38
- 2022年 ETH価格 vs 取引高		- 2022年 トップ10取引所	
- 2022年 Ethereumステーキング		- 2022年 トップ10CEX(中央集権型取引所)	
- 2022年 Ethereum パーンレート		- 2022年 トップ10DEX(分散型取引所)	
- MEV		- 2022年デリバティブ取引所 -無期限先物取引高	
- The Merge後のEthereumロードマップ		- 2022年デリバティブ取引所 -無期限先物オープンインタレスト	
		- 2022年 GBTC & BITO パフォーマンス	



## 創業者ノート

Q2の初めに、2022年は仮想通貨市場にとって恐怖の年になると述べましたが、年末直前にFTX及びAlameda Researchの破綻によって最後のダメ押しを経験することになるとは、全く予想していませんでした。この破綻は数百万ドル規模の損失をもたらし、業界はその波及効果によって今もなお不安定なままです。4月のTerra/Luna崩壊のように、数ヶ月先まで実際のダメージは分からないでしょう。

この事件により、仮想通貨の価格は最後の下げ局面に突入し、BTCは~16,000ドル、ETHは~1,200ドル台まで下落しました。仮想通貨市場の合計時価総額は、年初から64%減の8300億ドルで年を終えています。FTXと密接に関連するSolanaは、崩壊から80%も下落し大きな打撃を受けました。TVL(合計ロック資産額)も2億ドルまで減少しています。

価格の下落は、全ての取引所において現物取引高の減少と重なりました。年末までにデイリー取引高は250億ドルまで低下し、2019年初頭以来の水準となりました。NFTマーケットプレイスも同様に、1月には60億ドルだった取引高が12月には4億ドルです。DeFi TVLも同様に年初1700億ドルから390億ドルまで激減し年を越しました。

最終的に、2022年は2年間続いた強気相場の高揚感から過剰なものを一掃する年となりました。マクロ環境は確かに厳しくなっていますが、持続不可能なバブルを作り出したのは業界自体にも責任があります。年末になると業界は新しい参加者もいなくなり過疎化しましたが、同時に詐欺師やペテン師、悪徳業者の数も激減しました。

そして、弱気市場の試練に耐える堅実なプロジェクトもある一方、持続性に欠けるものは簡単にシャットダウンする時を迎えています。冬相場は、冷酷なまでに効率的に市場の弱点を洗い出していきます。欠陥のあるモデルを採用するプロジェクトは瞬間に崩壊し、加えてハッキング攻撃や流出被害がさらなる追い討ちをかけました。

口先だけに聞こえるかもしれませんが、この業界にとって重要なポイントをいくつか挙げておきます。まず、冬相場にもかかわらず、オンチェーン・アドレスは継続的に増加しており、着実にアダプションは進んでいます。そして、最大のスマートコントラクトプラットフォームであるEthereumは、PoS移行という数年にわたる技術的偉業を成し遂げました。AaveやFrax、Synthetixといった有望なDeFiプロトコルも大幅にアップグレードされ、ユーザーに新しい機能を提供し続けています。一方、NFTはさまざまなチェーンに広がり、単純なPFPからより実用性の高いものへと進化を続けています。

世界は今、厳しい状況にあります。仮想通貨市場は2022年に大きな後退を余儀なくされましたが、このような厳しい状況でも、その本質を再認識する必要があります。クリプトをユーザーにとって意味・実用性のあるものにするために、努力を重ねる必要があるのです。2022年は忘れ去られる年であると同時に、業界にとってのターニングポイントになるはずで、2023年は本格的な回復には早すぎるかもしれませんが、分散型の未来の実現は着実に迫ってきています。その時まで、共に耐え、共に創り続けることが大切です。



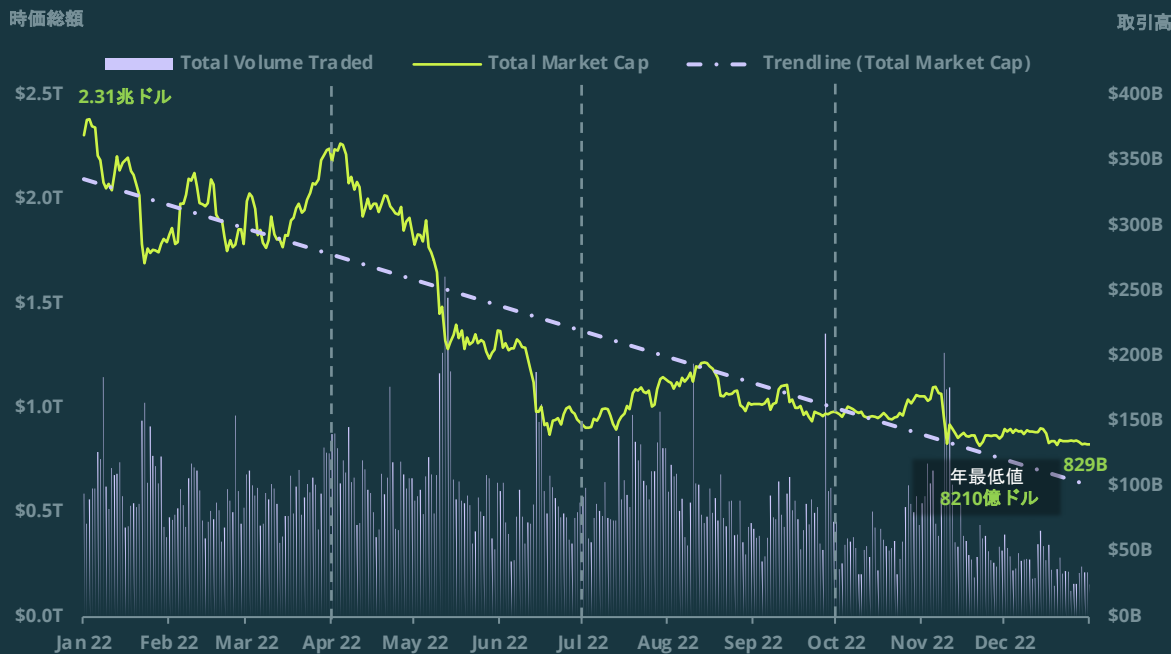
Bobby Ong  
COO

TM Lee  
CEO

# マーケット概観

## Q2以降、仮想通貨市場の時価総額は1兆ドル台前半かそれ以下の横ばいで推移した

合計時価総額 & 現物取引高 (2022年 1-12月)



# -64.1%

2022年 合計時価総額 減少率

マクロ経済が厳しい状況にあり、仮想通貨業界で倒産や破たんが相次ぐ中、合計時価総額は2022年を8290億ドルで終了しました。年初より64%の減少です。

Q2は最も残酷なシーズンで、大幅な下落が起きました。その後はほぼ横ばいを続け、11月のFTX破綻で最後の下落が発生しました。

Q4の平均取引高は~590億ドルで、前四半期比32.8%減となりました。全体として、取引高は年間を通じて着実に減少傾向にあり、平均で~860億ドルほどでした。

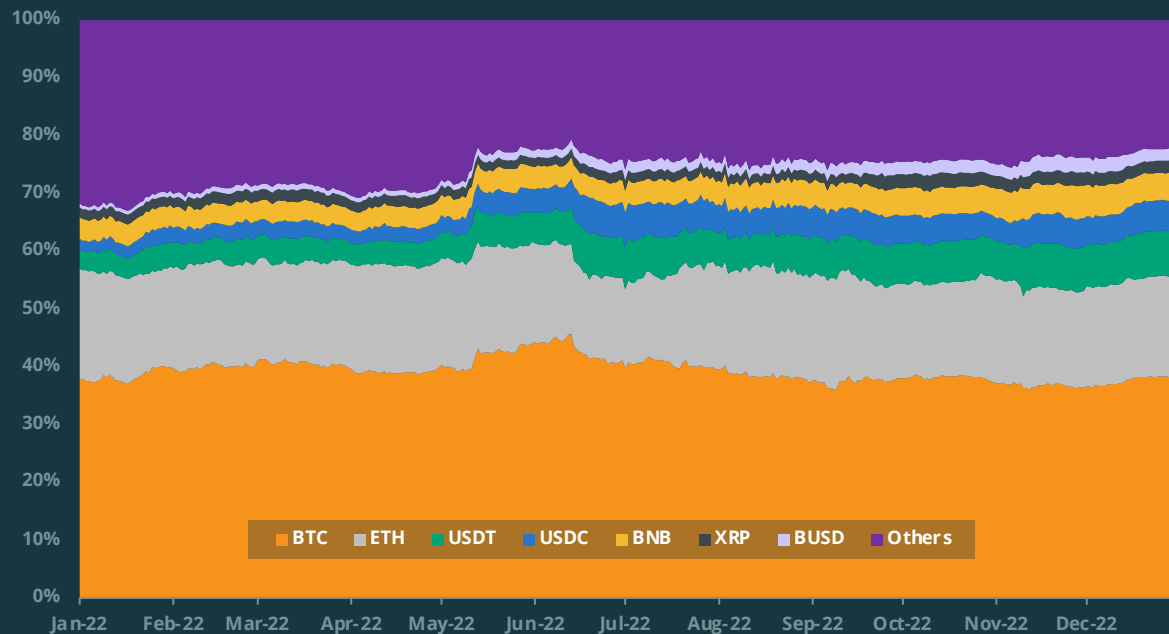
注目すべきはトップ10に入ったMATICと、前四半期比21位から11位に躍進したOKBです。

SOLとLUNCは年スタート時点ではトップ10入りしていましたが、90%以上下落し、それぞれ5位から19位、9位から42位となりました。

## 2022年 仮想通貨マーケットシェア

投資家がドルを求めたことで、USDT, USDC, BUSDなどステーブルコインのシェアが拡大

仮想通貨 マーケットシェア (2022年 1-12月)



 **38.6%**  
▲0.5%

 **17.4%**  
▼1.6%

 **8.0%**  
▲4.6%

 **5.4%**  
▲3.5%

 **4.8%**  
▲1.1%

 **2.1%**  
▲0.4%

 **2.0%**  
▲1.4%

 **21.9%**  
▼9.9%

2022年のBTCドミナンスは、弱気相場時に上昇する傾向のあった過去のサイクルとは対照的に、基本的に横ばいで推移しています。

トップ7つの仮想通貨のうち、ETHだけが-1.6%とシェアを低下させた一方で、USDTとUSDCは高い上昇率を記録しました。

その他(-10%)の市場シェアは、当然のことながら、投資家が「Blue Chip」やステーブルコインに逃避したため、最も低下しました。

## 2022年 仮想通貨価格リターン

## 仮想通貨投資家にとって苦痛の1年

	FY 2022	Q4 2022	Q3 2022
<b>Top 5 Cryptocurrencies</b>			
BTC	-64%	-15%	-1%
ETH	-68%	-10%	26%
BNB	-52%	-13%	31%
XRP	-59%	-29%	46%
ADA	-81%	-43%	-4%
<b>Top 5 DeFi Tokens</b>			
UNI	-70%	-20%	31%
LINK	-72%	-27%	23%
LDO	-69%	-40%	254%
AAVE	-80%	-30%	32%
CAKE	-73%	-33%	58%
<b>Top 5 Exchange Tokens</b>			
BNB	-52%	-13%	31%
OKB	-10%	62%	33%
LEO	-4%	-14%	-27%
CRO	-90%	-49%	-3%
HT	-45%	17%	-7%
<b>Top 5 Play-To-Earn Tokens</b>			
AXS	-94%	-52%	-13%
SAND	-93%	-55%	-25%
MANA	-91%	-57%	-20%
IMX	-92%	-49%	-24%
GMT	69%	-64%	-23%

トップ5の仮想通貨のうち、ADAはQ2(-43%)と2022年度(81%)ともに最悪のパフォーマンスでした。BNBがよく持ちこたえました(-52%)が、次ぐXRPは-59%、BTCは-64%となっています。

主要なDeFiプロトコルは着実に開発を続けている一方で、それらのトークンの価値はQ4に2桁パーセント下落しました。平均的には、全てが2022年を通して70~80%の下落を記録しました。

前四半期にDeFiトークンのトップ5に入っていたMKR(-78%)、GRT(-92%)、RUNE(-81%)も2022年に大きな損失を被っています。

取引所トークンは、2022年にOKB (-10%) とLEO (-4%) など著しくレジリエンスを持つトークンがある一方で、FTXのFTTのように明白な理由で完全に落下してしまったものもあり、混戦模様となっています。中央集権的な取引所の財務的健全性に関し懸念が高まる中、Crypto.comのトークンCROも大打撃を受け、トップ5の中で最悪のパフォーマンス(-90%)を記録しています。

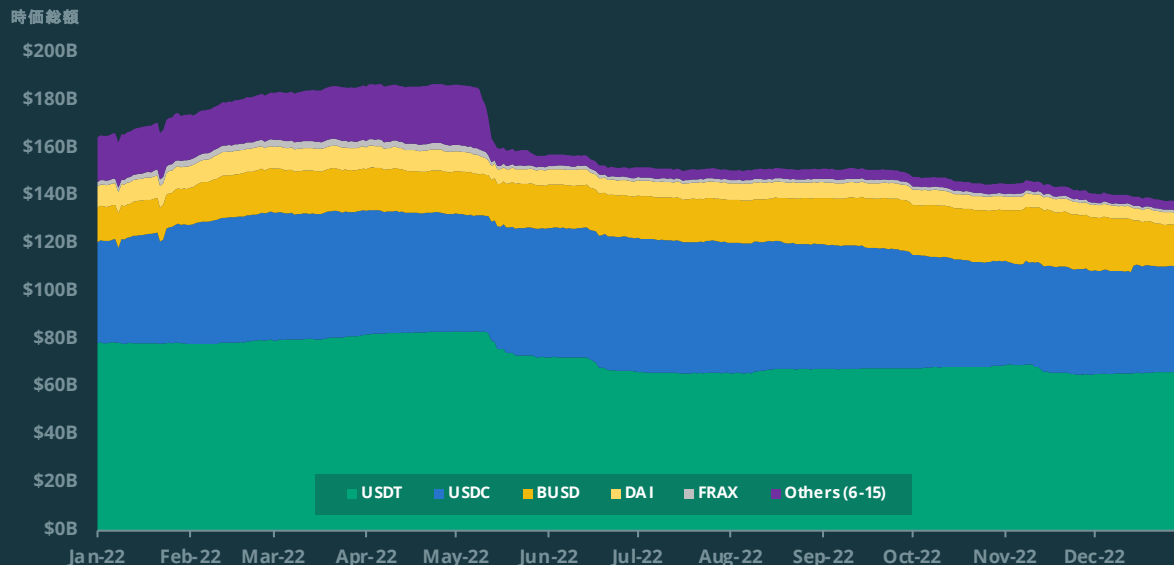
P2E部門は最も大きな影響を受け、軒並み90%以上の損失を被りました。例外はGMTで、上場後2ヶ月で2,700%以上上昇し、その後急落はありつつも、69%の上昇で年を越しました。

また、2022年Q1からQ3までP2Eトークンのトップ5に入っていたGALAも96%の急落を記録しています。

## 2022年 トップ15ステーブルコイン概観

ステーブルコインが優勢になるも時価総額は273億ドル減少、一方でUSDCとBUSDは増加。

トップ15 ステーブルコイン 時価総額内訳 (2022年 1-12月)



# -16.6%

トップ15ステーブルコイン  
2022年 時価総額推移

2022年、ステーブルコインといえど縮小を免れることはできず、時価総額は合計273億ドル（約17%）減少しました。ただしこの損失のほとんどはUST崩壊によるもので、それ以降、定期的にデベッグ危機があったものの、全体としては比較的順調に推移しています。

最大のステーブルコインUSDTは、時価総額で-16%、絶対額で120億ドル減少しました。逆に、USDCとBUSDはそれぞれ約20億ドルの伸びを示しています。

仮想通貨担保型ステーブルコインでトップのDAI(-43%)とFRAX(-44%)は同様の割合で損失を出しましたが、絶対額で見るとDAIの損失は40億ドルでその差は5倍近くあります。

トップ5以外では、11月に崩壊したUSDNがトップ15から転落し、MIMATICがその座を奪取しました。5月にローンチしたUSDDは現在8位に位置し、6月以降、時価総額7000億ドル前後で推移しています。



662億

-122億 (-15.5%)



445億

+23億 (+5.5%)



166億

+21億 (+14.7%)



50億

-39億 (-43.4%)



10億

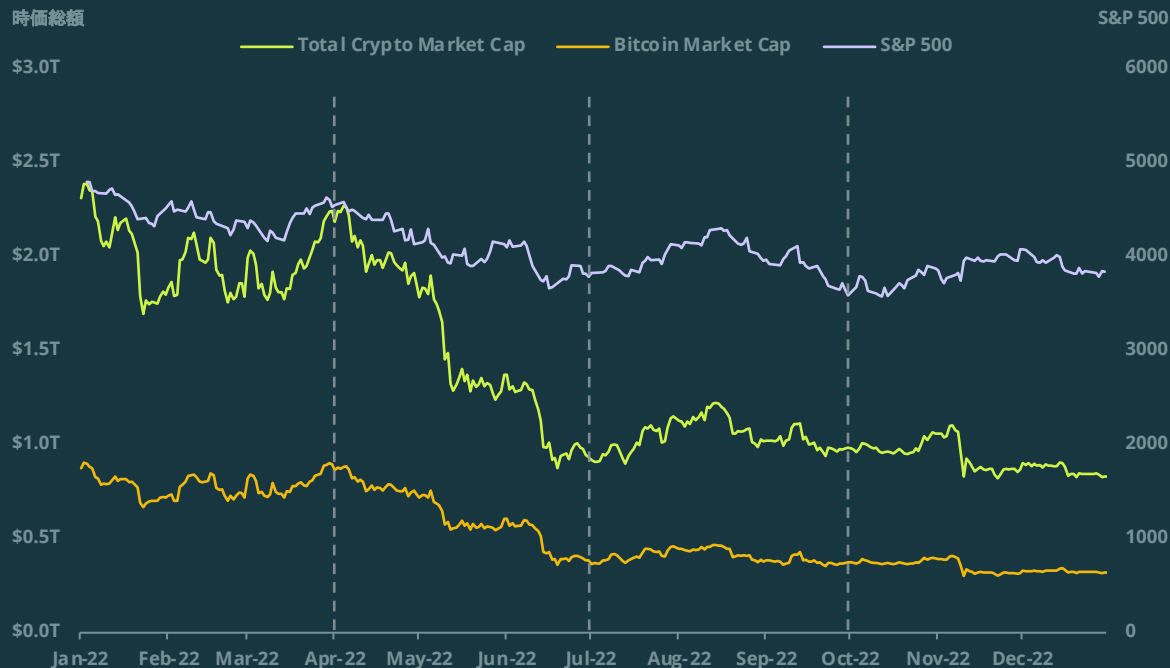
-08億 (-43.9%)



## 2022年 仮想通貨市場 合計時価総額 & Bitcoin vs S&P500

### Q4に起きたFTX破綻は皮肉にも株式と仮想通貨のデカップリングに貢献

仮想通貨市場・Bitcoin・S&P500 時価総額比較 (2022年 1-12月)



2022年、仮想通貨市場全体の時価総額は、意外にもBitcoinと連動して動き、相関関係は0.99となりました。

クリプトと既存金融市場の四半期ごとの相関は年間を通じて高水準で推移しました。2022年のBTCとS&P500の相関は0.86となっています。

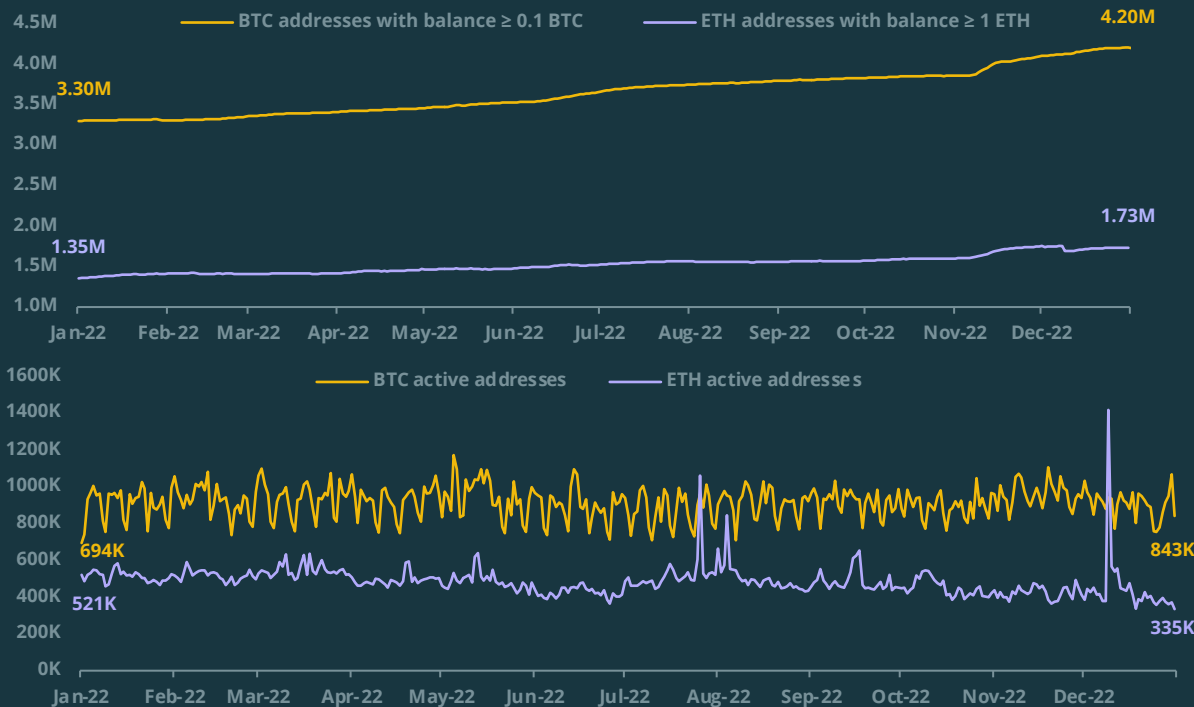
しかし、Q4の相関は-0.64と強くマイナスに転じました。S&P500はQ4に若干回復しましたが、その側横ばい傾向にあった仮想通貨市場はFTX破綻により暴落を経験しました。

仮想通貨の合計時価総額は堅調に推移していて、Q3のパフォーマンスはS&P500よりも高かったのですが、Q4に入るとFTX破綻を皮切りに、S&P500が4.4%回復している傍ら、仮想通貨市場が16%下落するという現象が起きました。

2022年、両アセットクラスは方向性が似ていたものの、下落率で見るとS&P500(-20%)と仮想通貨(-64%)で3倍もの差があることが分かります。また、仮想通貨のボラティリティは年率換算で62%と、S&P500の24%に対し2.5倍も大きかったのです。

### 市場急落にも関わらず、BTC&ETHアドレス数は増え続け、アクティブアドレス数も安定している

Bitcoin 及び Ethereum アドレス数 推移 (2022年 1-12月)



2022年の市場は残酷な打撃を受けたにもかかわらず、 $\geq 0.1$ BTC及び $\geq 1$ ETHを保有するアドレス数は年間を通じて着実に上昇しており、アダプションの拡大を示唆しています。

Bitcoinネットワークのアクティブアドレスも比較的安定しており、デイリー80-100万程度で推移しています。

これは、1日のアクティブアドレスが年間を通じて減少傾向にあり、年末には約50万から約40万に減少したEthereumとは対照的です。

アクティブアドレスの急増は、7月末から8月上旬のマージ前の急騰など、大きな価格変動と一致する傾向にあります。

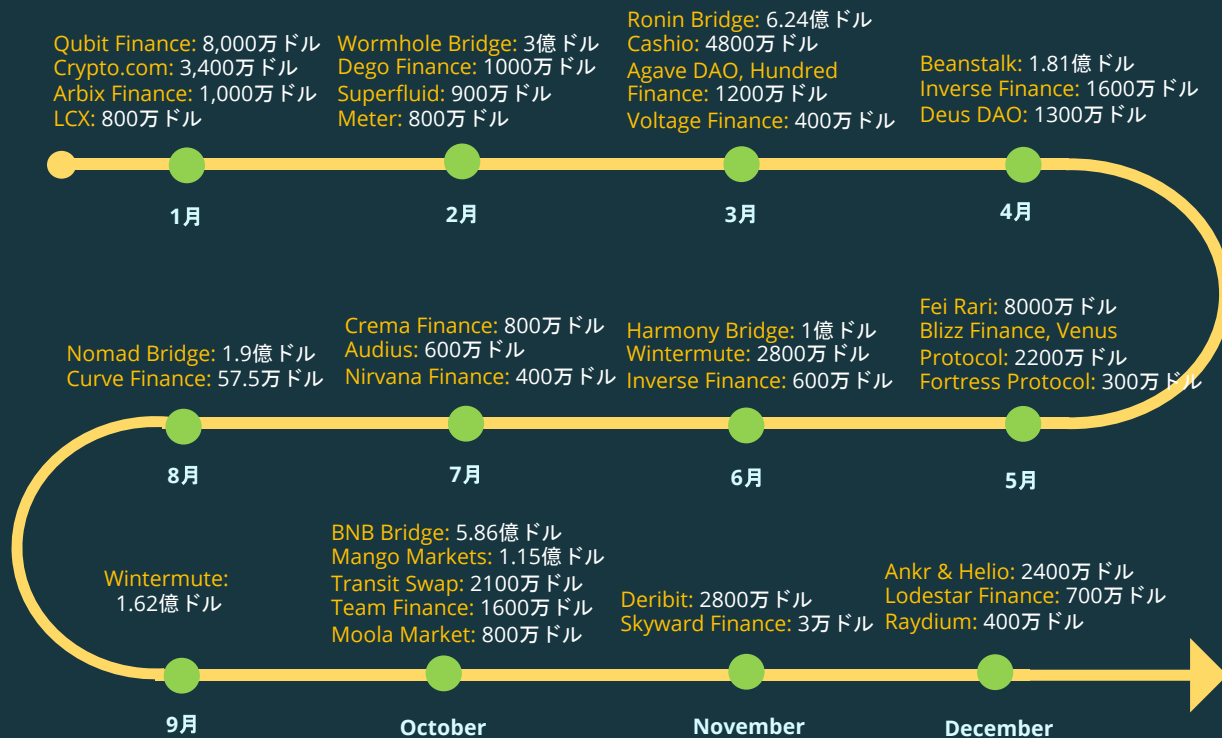
# 2022年 注目のイベントタイムライン

(浮き)沈みの激しい1年。



## 2022年 巨額の損失をもたらした流出事件

2022年、少なくとも180件以上の流出事件によって28億ドルが失われた。  
盗まれた資金の65%はわずか5つのブリッジハックからもたらされた。



2022年3月、Ronin Bridgeのハッキングにより6億2400万ドルを失い、過去最大の流出被害額を記録しました。

その他大規模な流出被害としては、BNB Bridge(5.86億)、Wormhole Bridge(3.26億)、Nomad Bridge(1.9億)、Beanstalk(1.81億)、Wintermute(1.6億)、Mango Markets(1.15億)、Harmony Bridge(1億)など。

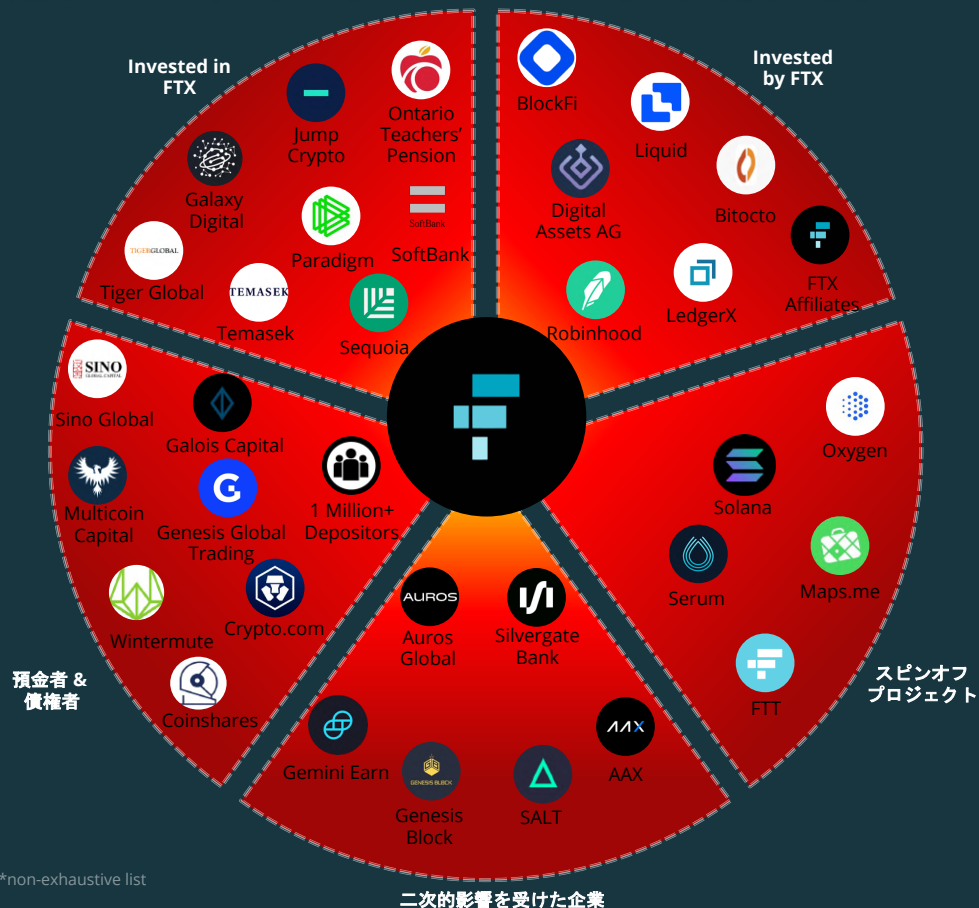
トップ5のうち4つがブリッジです。

また、8月に発見されたSolana Slopeウォレットの脆弱性は、8000以上のアドレスから合計500万ドル以上の資金を奪い、業界を騒がせました。

Secret Networkは、11月にも深刻な脆弱性を発見しており、資金が危険にさらされることはなかったものの、パッチ適用前の全ての取引履歴が流出しプライバシーが侵害された可能性があります。

FTX破綻の波及効果は、推定100万人以上の預金者、債権者、投資家に影響を与えた。今後数ヶ月のうちにさらに多くのドミノ倒しが起こる可能性がある。

**100万+**  
FTXの破綻で影響を受けた預金者の推定数



CoinDeskがAlamedaの資産の大半がFTXが発行するFTTトークンであると主張する記事を掲載した直後、CZはBinanceのFTTトークン株を売却する意向を表明しました。そしてFTXが出金を停止したことで取り付け騒ぎが発生し、その後、同取引所は破産(連邦破産法11条)に追い込まれることとなりました。

後に、Terra崩壊による債務超過を補填するために、AlamedaがFTXのユーザー資金を不正流用していたことが明らかになりました。

大きな被害を受けた企業:

- **BlockFi:** FTXに3億5500万ドル、さらにAlamedaに6億7100万ドルを貸し出していた。
- **Genesis Global Trading:** FTXに1億7500万ドルの預金。現在、同社のレンディングサービスは預入資産の償還を停止。
- **Silvergate Bank:** FTXの破綻の余波で、80億ドルが引き出された。その後、同行は従業員の40%をレイオフ。

事件直後からすでに多くの企業が経営難/倒産に陥りましたが、2023年もさらに多くの企業が追隨することが予想されます。

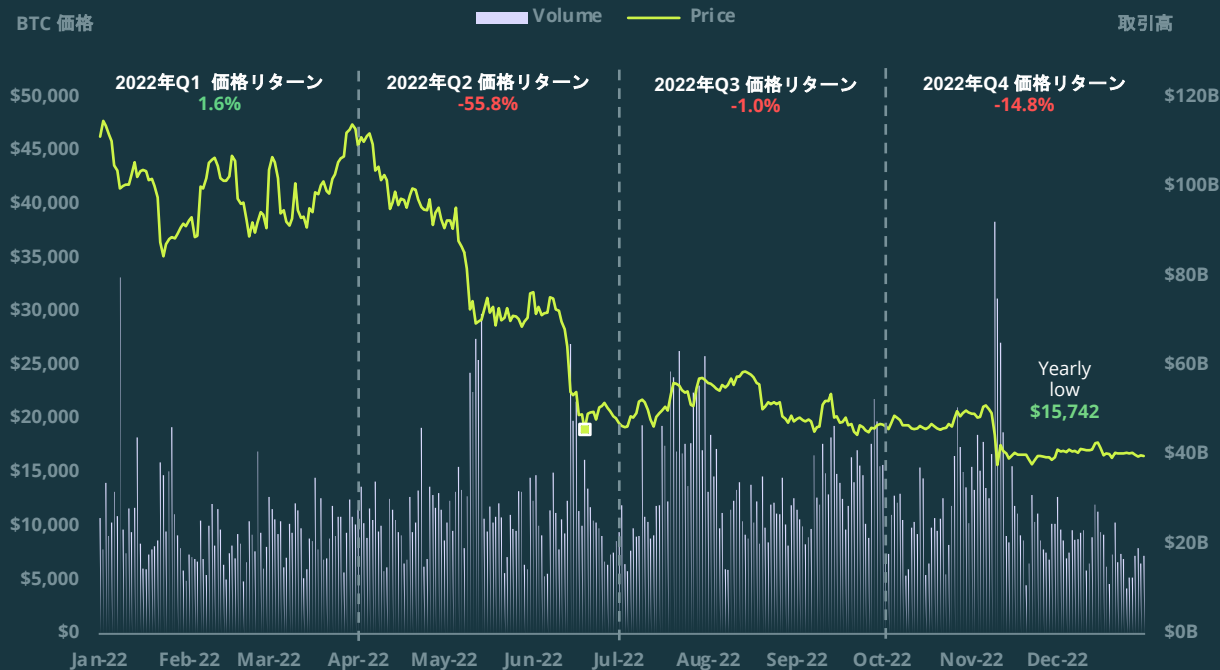
\*non-exhaustive list

# BITCOIN分析

## 2022年 BTC価格 vs 取引高

BTCは16,604ドルで年初の46,319ドルからかなりの下落。

BTC価格 及び 現物取引高 (2022年 1-12月)



# -64.2%

2022年 BTC価格リターン

BTCは2022年を通して下落基調で、年末には64.2%下落して16,604ドルとなりました。

6-7月の急騰を除き、200週移動平均線(WMA)より下で推移しています。前回の冬相場(2018-2020年)では、BTCはこの指標を上回る水準を維持することができました。

Q4にBTCは21,282ドルの四半期高値を記録しましたが、FTXの影響により15,742ドルの年初末安値に転落しました。

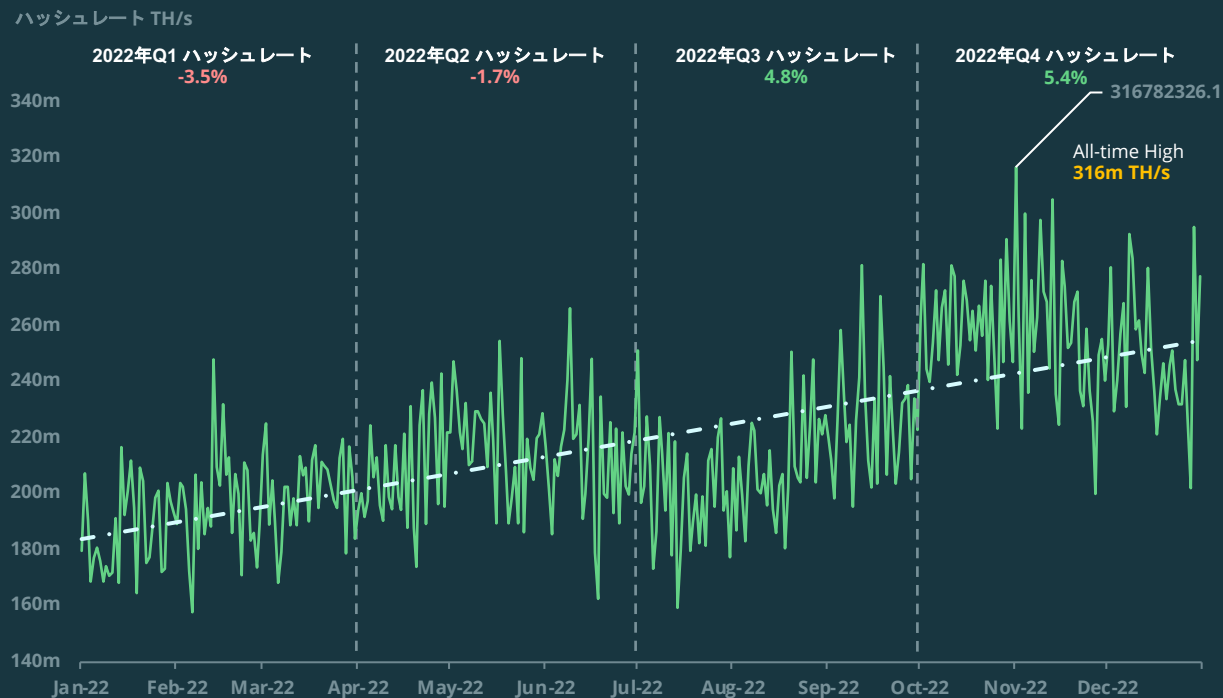
2022年の注目すべき出来事:

- **Lightning Network アダプション**。チャネル数および容量の増加 (2022年末時点で5,000BTC(約8500万ドル)以上)
- **Taro Alpha版ローンチ**。Bitcoin開発者がLightning Network経由でブロックチェーン上にアセットを発行可能に。

## 2022年 Bitcoinマイニングハッシュレート

Bitcoinのハッシュレートは弱気相場にもかかわらず上昇傾向。ただし11月の落ち込みは、2023年中にマイナーがトラブルに見舞われる予兆の可能性も

Bitcoin 合計ハッシュレート (2022年 1-12月)



# 54.5%

2022年  
Bitcoinハッシュレート上昇率

2022年を通して仮想通貨市場の弱気なセンチメントであったにもかかわらず、Bitcoinの合計ハッシュレートは年間で54.5%増加しました。11月1日には316.8mTH/sのATHを記録したほどです。

2022年Q4、Bitcoinの合計ハッシュレートは、11月に一時低迷したものの、12月には穏やかに回復し、引き続き上昇を続けています。結果的にQ4、HRIは5.4%増加しました。

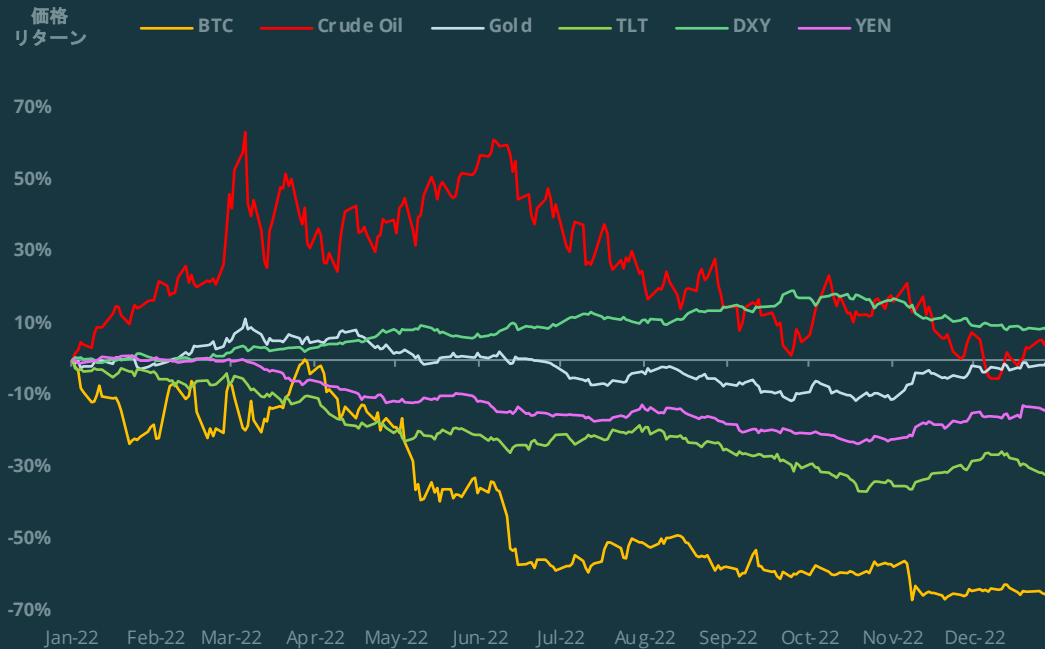
年末、特に過剰なレバレッジを抱えた一部のBTCマイナーが破産に直面しました。大手Core Scientificは破産申請後、事業継続のために融資を受けなくてはなりませんでしたが、Argoは辛うじてこの運命を免れたようです。



## 2022年 価格リターン: Bitcoin vs 主要アセットクラス

主要アセットは原油と米ドルを除いて軒並み不調で、BTCは64.2%の下落で最低パフォーマンスとなった

Bitcoin vs. 主要アセットクラス 2022年



	Q4 2022 Return	2022 Return
BTC	-13%	-64%
S&P 500	6%	-20%
NASDAQ	-2%	-34%
CRUDE OIL	3%	6%
GOLD	7%	-1%
TLT (Treasury Bonds)	4%	-32%
DXY (US Dollar Index)	-7%	8%
YEN	9%	-1.3%
GBP	6%	-1.1%
EUR	8%	-6%
CNY	2%	-9%
SGD	7%	0%

Bitcoinは、2022年最もパフォーマンスが悪かった資産の一つとなり、-64.2%の下落で1年を終えました。ただ、他大半のアセットの変動率も2022年はマイナスです。

DXYは、2022年を通して行われたFRBの利上げにより、全てのアセットクラスをアウトパフォームしましたが、Q4には上昇分のほとんどを戻しました。

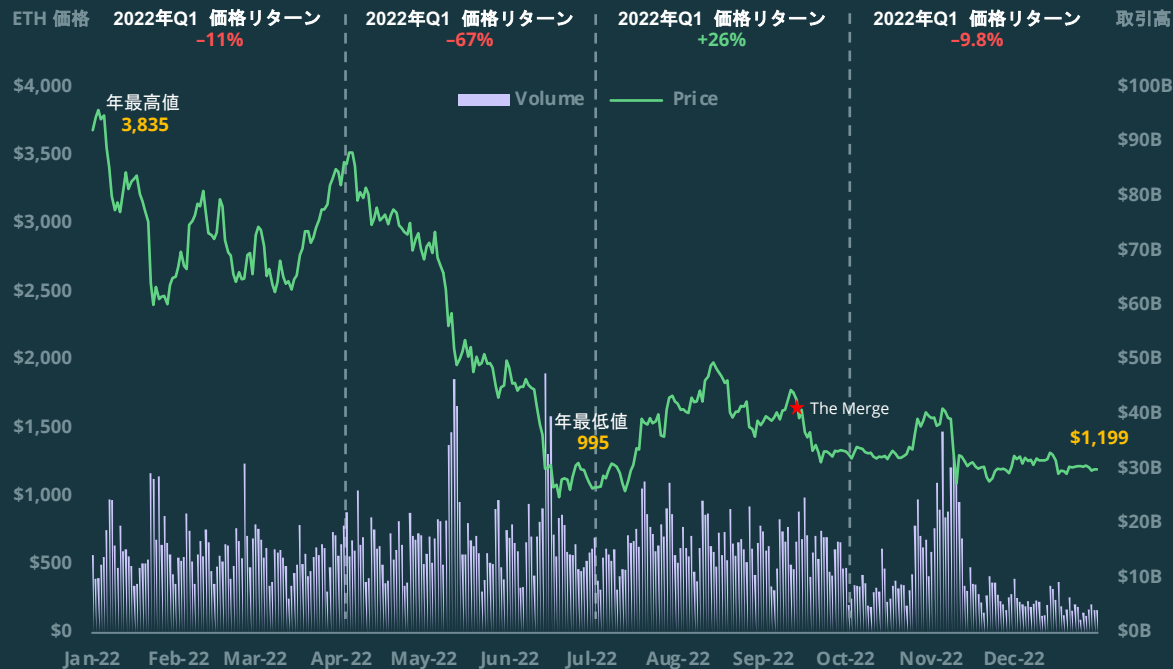
原油は、ウクライナ戦争に起因する大規模な供給不足と同時に、コロナのロックダウン解除による需要増で、年初は大きく上昇しました。しかし、その上昇幅はほとんど戻され、年末には+6%にとどまっています。

# ETHEREUM分析

## 2022年 ETH価格 vs 取引高

Q3マージ前の急騰も虚しく、ETHは年始の水準まで回復できず、1,200ドル台で年を越した。

Ethereum 価格 and 現物取引高 (2022年 1-12月)



# -67.5%

2022年 ETH価格リターン

ETHは1,199ドルで2022年を終え、1年間で-67.5%の下落を記録しました。

1月には3,835ドルの年最高値をつけていましたが、暴落を繰り返し6月下旬に995ドルの安値を付けた。6月以降、マージ前の8月に一時的に反発に成功しましたが、依然200WMAの下を推移しています。

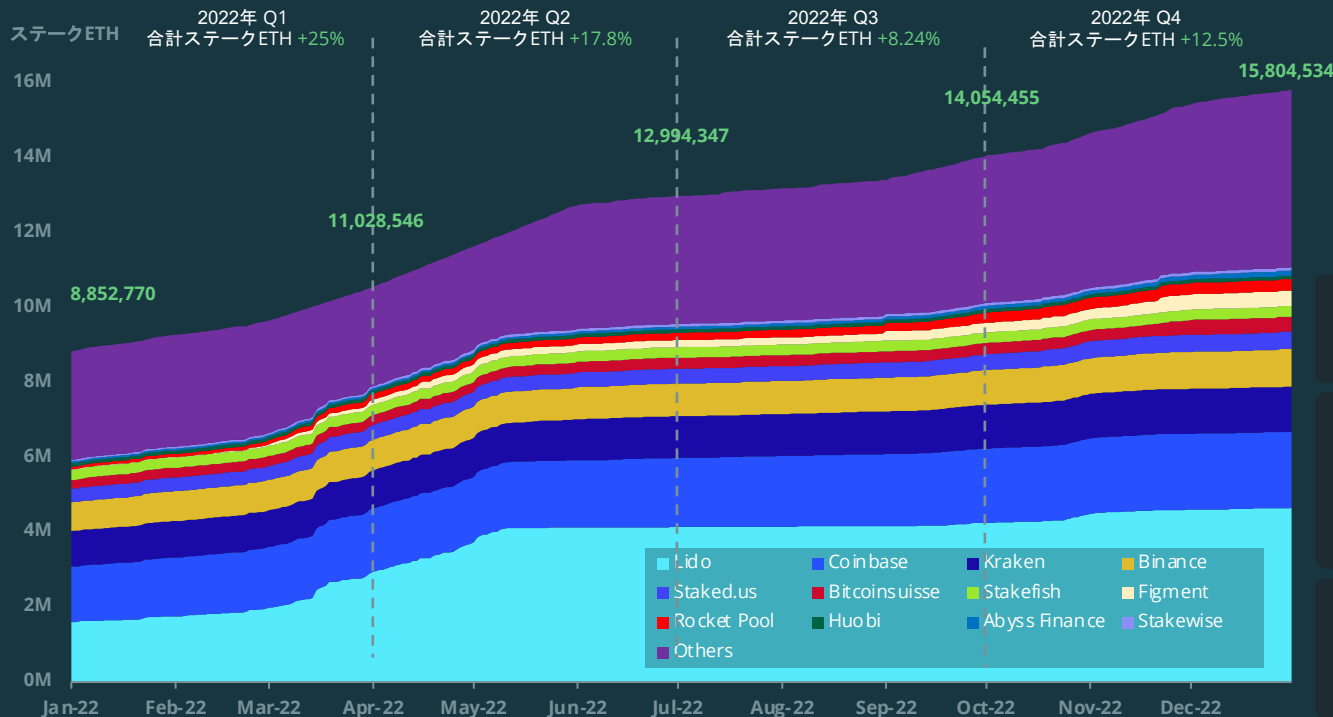
Q410月にETHは下落し、後に11月初旬のラリーで反発しました。しかし、またしてもFTX破綻の影響により安値1,095まで暴落する結果となりました。

その後、ETHの価格は11月下旬にやや回復し、それ以降、重要な抵抗線である1,350ドルを常に試す価格帯を推移しています。

# 2022年 Ethereumステーキング

Ethereumアップグレードにより、年末まででステーク量は1,580万ETHまで増加。

バリデータが持つ合計ステークETH (2022年 1-12月)



ソース: Glassnode



2022年末までに合計ステークETHは1580万に達しました。仮想通貨市場の低迷にもかかわらず、Q4ステークETH量は+12.5%という大きな伸びを示しました。

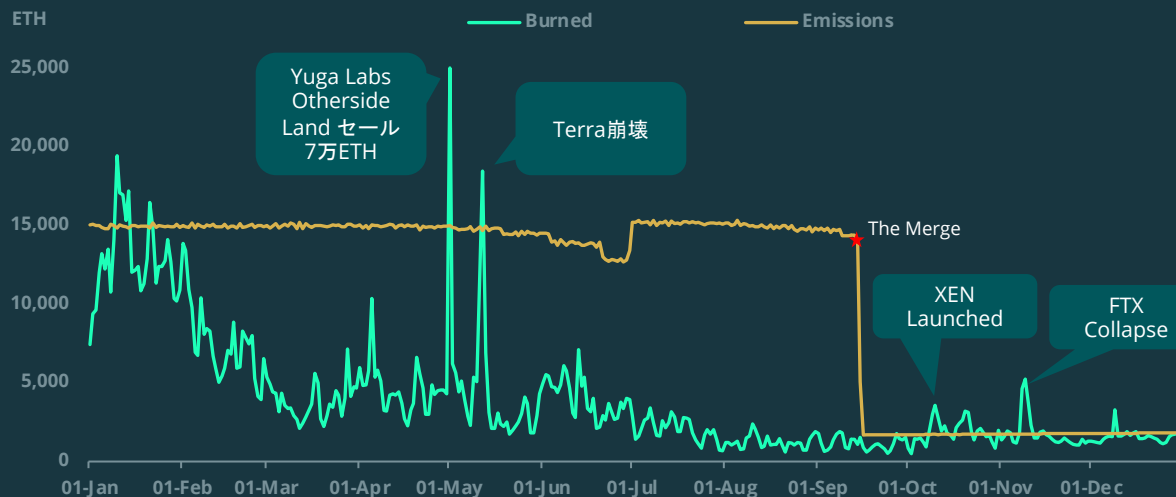
Lidoは引き続き市場をリードし、全ステークETHの29%を占めています。二番手のCoinbaseはシェア12.8%にとどまりました。注: Lidoは現在29のノードオペレーターで構成されており、それぞれは最大5%のstETHシェアを持っています。

ETHのShanghaiアップグレードは3月中に実装される見込みで、ステーカーがETHを出金できるようになります。実装後、ステーキング競争に何か変化が訪れるかもしれません。

## 2022年 Ethereum バーンレート

ETHはまだマイルドなインフレ状態だが、Merge以降、発行量増加は大きく鈍化している

ETHバーン vs. 新規発行レート (2022年 1-12月)



# 148万

2022年 ETHバーン量

2022年、バーン量が148万ETHだったのに対し、398万ETHが新規発行されました。月平均のバーン量は12.3万ETHです。2021年の月平均は26.3万ETHでした。

The Merge後、ETHの新規発行は平均1.46万ETH/日から1700ETH/日に激減しました。一時的にバーンが発行を上回るときもありましたが、全体としては発行がバーンを上回っていました。

5月1日には、Yuga LabのOthersideのランドセールにより、70,000を超えるETHがバーンされました。

2021年と同様、ETHバーンに最も貢献したのはNFT取引です。NFTマーケットプレイスOpenSeaは最大の貢献者で、2022年に11.9万ものETHをバーンしました。

### 2022年 トップ6 ETHバーナー

1 

**OpenSea**  
11.9万ETH

2 

**ETH送金**  
11.2万ETH

3 

**USDT**  
4.9万ETH

4 

**Uniswap v2**  
2.8万ETH

5 

**USDC**  
2.3万ETH

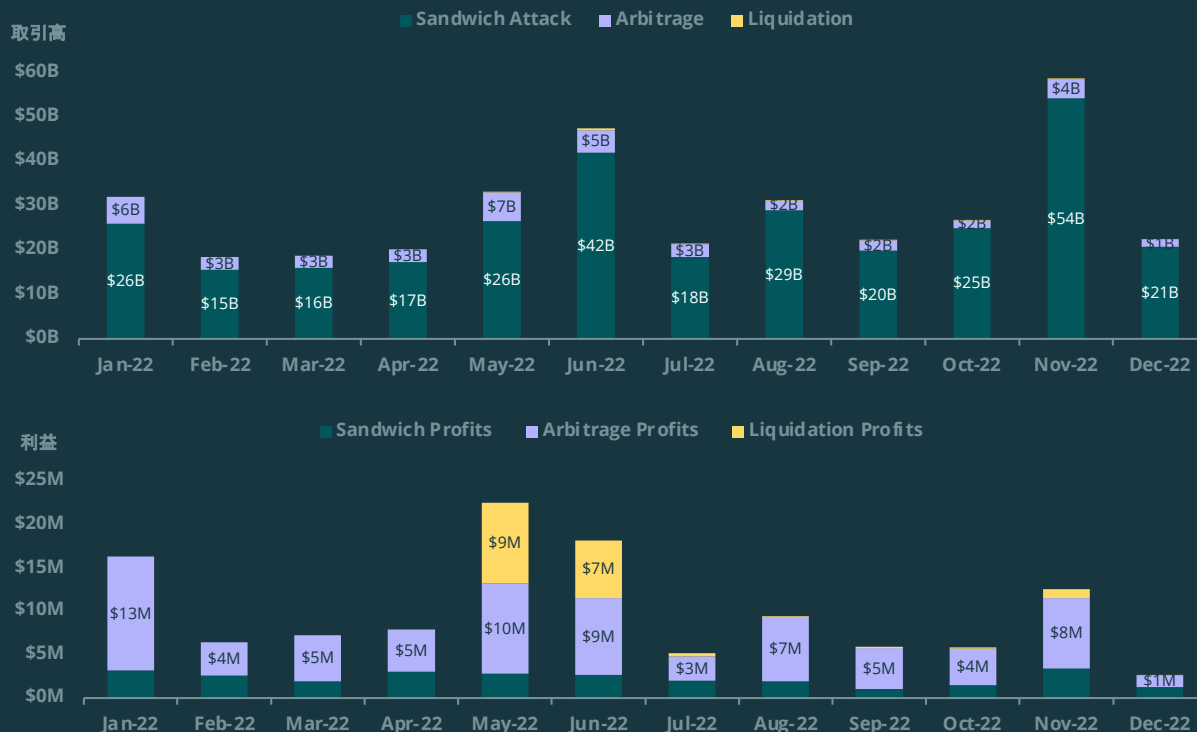
6 

**Metamask**  
2.2万ETH

## MEV: Maximal Extractable Value (最大抽出可能価値)

2022年に取引高が急減しても、MEVボットは利益を出し続けている

MEV月間取引高と利益 (2022年 1-12月)



~1.2億ドル

2022年  
MEV取引で生まれた利益

ETHは2022年は総じて下落傾向ですが、MEVの取引高は6月や11月などの不調時を除き、ほぼ年間を通じて安定的しています。

サンドイッチ攻撃はMEV取引の大部分を占め、取引高の80~90%に寄与しています。しかし、これらの取引は、MEVボットが獲得した総利益の23%にしか過ぎません。

2022年のMEV取引高に占める清算の割合はわずか0.13%であったにもかかわらず、これらの取引は最も収益性の高いものでした。平均して、清算取引は最も収益性が高く、アービトラージ(106%)およびサンドイッチ・アタック(27%)と比較して、107%のリターンを提供します。

しかし、アービトラージは2022年に7500万ドルと最も多くの利益を生んでいます。

## The Merge後のEthereumロードマップ

「Shanghai」及び「Cancún」アップグレードが2023年前半に予定されており、これによりステー  
クETHの引き出しが可能になり、スケーリングが本格的にスタートします。

### Merge後 ロードマップ



## The Merge

2022年9月15日

#### The Merge フェーズ 2

PoS移行後も、継続的にコンセンサスアルゴリズム改良に取り組む

2023年3月に予定されているShanghaiのアップグレードに、ステークETHの引き出しが含まれることになった。

#### The Surge

Ethereumのスケーラビリティはシャーディングによって大きく改善され、TPSは15~40から10万に引き上げられる可能性もある

Shanghaiに続き、EIP-4844(プロト・ダンク・シャーディング)を2023年5月~6月を目標にCancúnアップグレードを実施。

#### The Scourge

トランザクションを含む検閲耐性への取り組み、およびMEVに起因する中央集権化などのプロトコルリスク回避

11月にTornado Cash制裁への対応として追加され、その後OFAC準拠のバリデータとプロトコルレベルの検閲に関する議論が行われた。

#### The Verge

Verkle Treesがストレージを最適化、検証をスケーラブルかつ高速化、セットアップを容易化することによって、より多くのバリデータの参加を可能にする

プロトコル内PBS(提案者/構築者の分離)も含む。

#### The Purge

ネットワークの混雑とバリデータのハードディスク容量を削減するために、余分な過去履歴を削除する

#### The Splurge

雑多なアップデートとアップグレード、"the fun stuff"

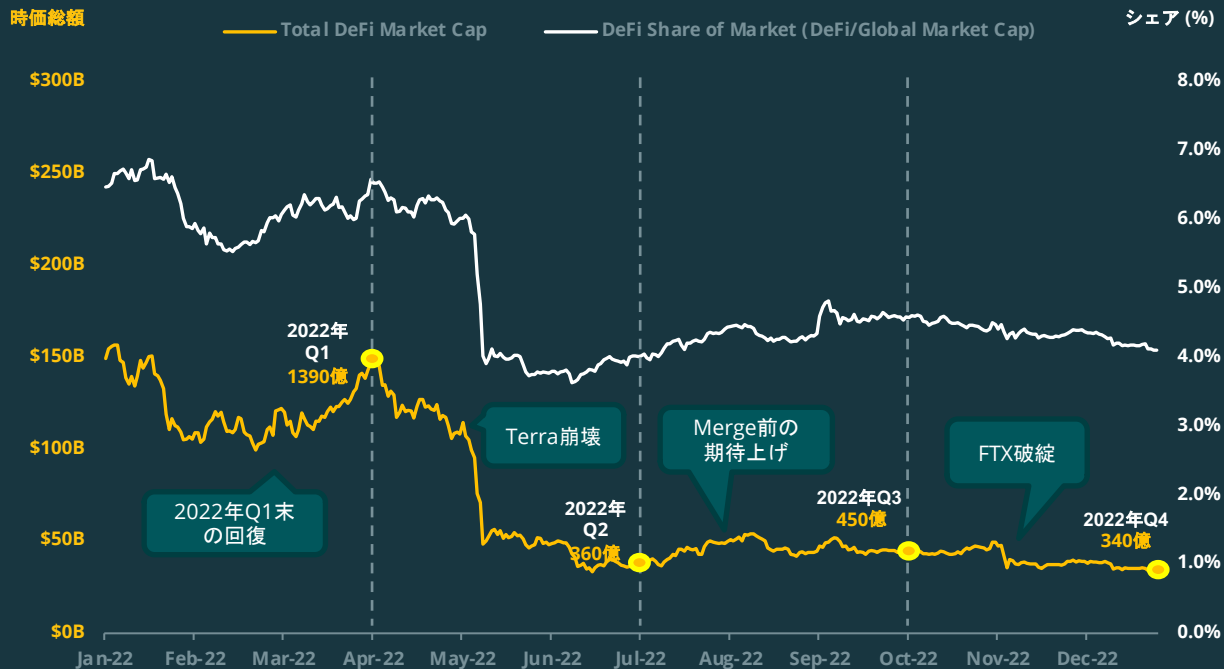
#### ★ Ethereum 2025

# DEFI分析



業界全体に衝撃を走らせたTerra崩壊とFTX破綻もあった2022年は、DeFiにとって厳しい年となった。

合計DeFi時価総額 及び 仮想通貨市場全体と比較したDeFiシェア (2022年 1-12月)



**-77.3%**  
2022年 DeFi時価総額 減少率

DeFi合計時価総額がQ1を通じて堅調に推移した一方、Terra崩壊より数十億ドルが消失し、全てがなし崩しに下落しました。

それ以来、DeFiは回復の兆しをほとんど見せず、時価総額は2022年の残りの期間、停滞したままです。

Q3のThe Mergeに向けて、ETHとDeFiトークンの価格が若干復活したものの、年初の水準と比較すると微々たるものでした。

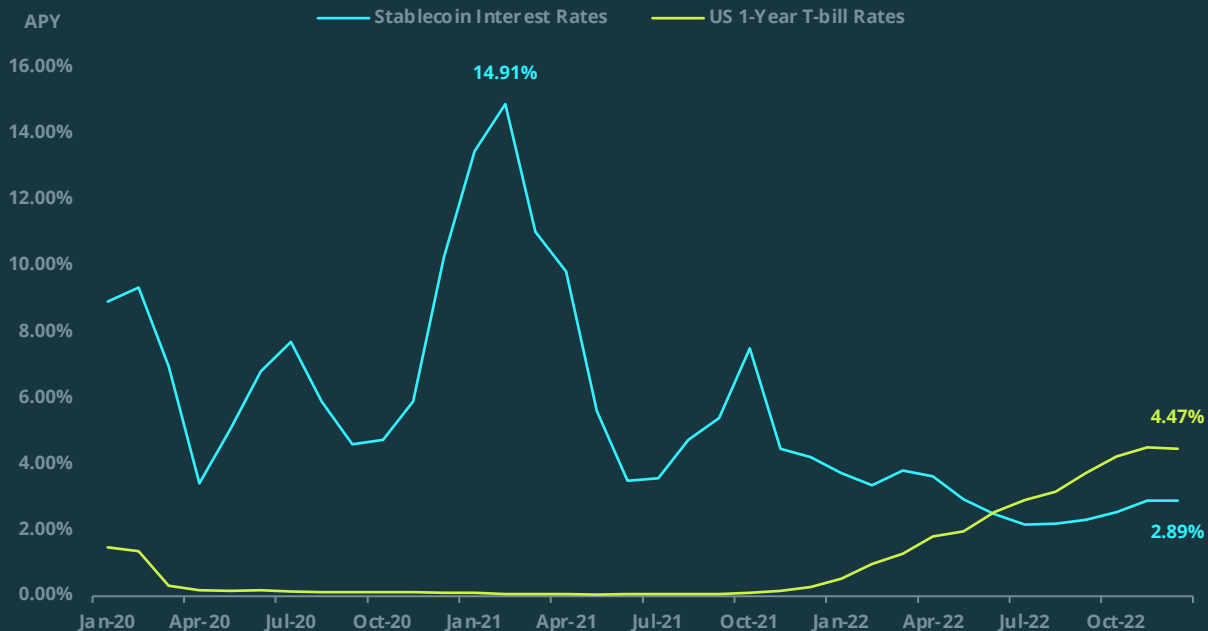
さらにQ4のFTXの破綻後、DeFi合計時価総額は24.4%減の340億ドルまで急落しました。

2022年初頭、DeFiは世界の仮想通貨時価総額の6.5%を占めていましたが、その数字は4.1%とかなり縮小しています。

## 2022年 価格リターン: DeFi vs 既存金融

DeFiイールドファーミングのリターンは、FRBの利上げにより米国債利回りが上昇したため、2022年には暴落している。

ステーブルコイン金利 VS 米国1年物国債金利 (2020年1月 - 2022年12月)



# -78.6%

2021年1月1日以降DeFiステーブルコインの利回り下落率

2020年後半に仮想通貨の暴騰が始まった頃、DeFiのレンディングプロトコルでステーブルコインの借入金利が急騰し、2021年2月には15%にも達しました。同時に、米国国債の利回りは平均してゼロに近くなっていたため、より高いリターン数を求めてDeFiを利用するユーザーは急増しました。

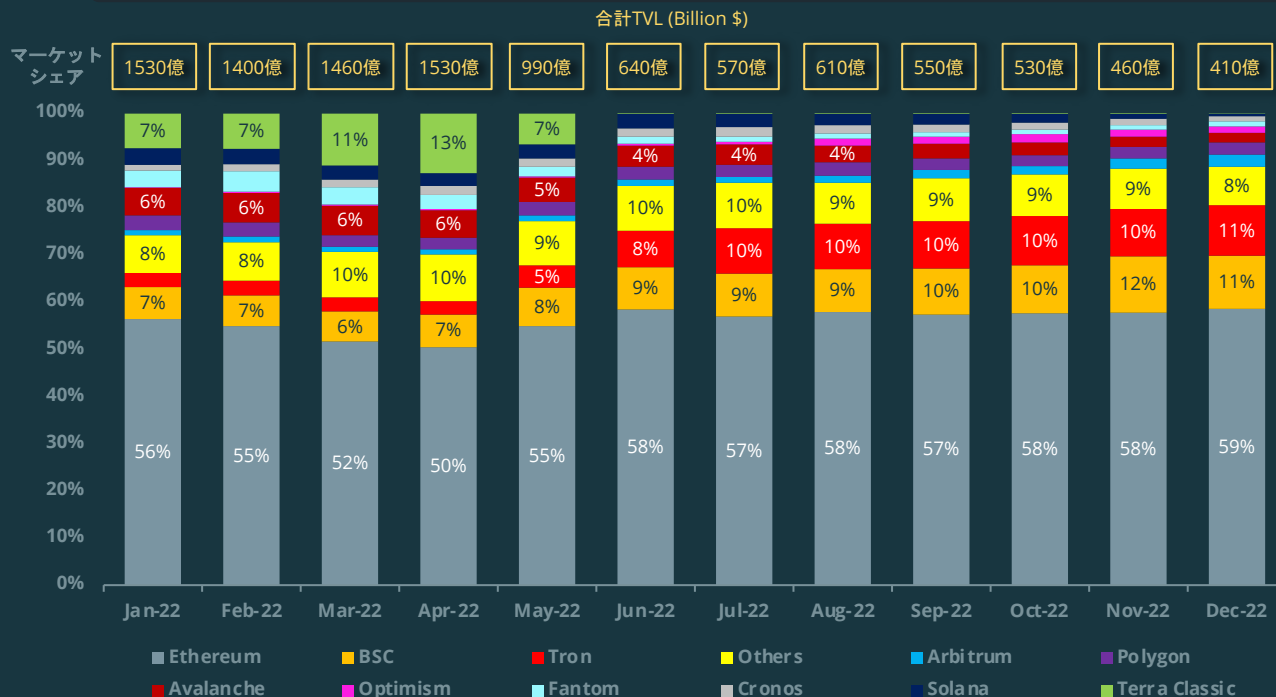
しかし、その後逆転し、DeFiの利回りは急落しました。ステーブルコインの借入金利は12月で年率2.89%にとどまっています。

FRBがインフレ対策として何度も利上げを実施したため、2022年の国債利回りは着実に上昇し、最終的には6月にDeFi貸出金利を上回りました。2023年1月1日現在、1年物米国債の利回りは年4.47%で、DeFiの利回りよりも高い水準に位置しています。

## 2022年 DeFiマルチチェーンマーケットシェア

BNB ChainとTronは2022年を通してマルチチェーンTVLシェアを伸ばしたが、Ethereumは依然60%近くシェアを支配している。

マルチチェーン 合計TVL内訳 (2022年 1-12月)



**-73.2%**  
2022年マルチチェーンDeFi TVL 減少率

アルトチェーンの人気急上昇によりQ1にEthereumはシェアを落としたものの、年末にかけて再び回復し、さらにはマルチチェーンTVLの59%を支配するまでになりました。しかし、絶対値で見ると、EthereumのTVLは72.4%減の237億ドルと大きく縮小しています。

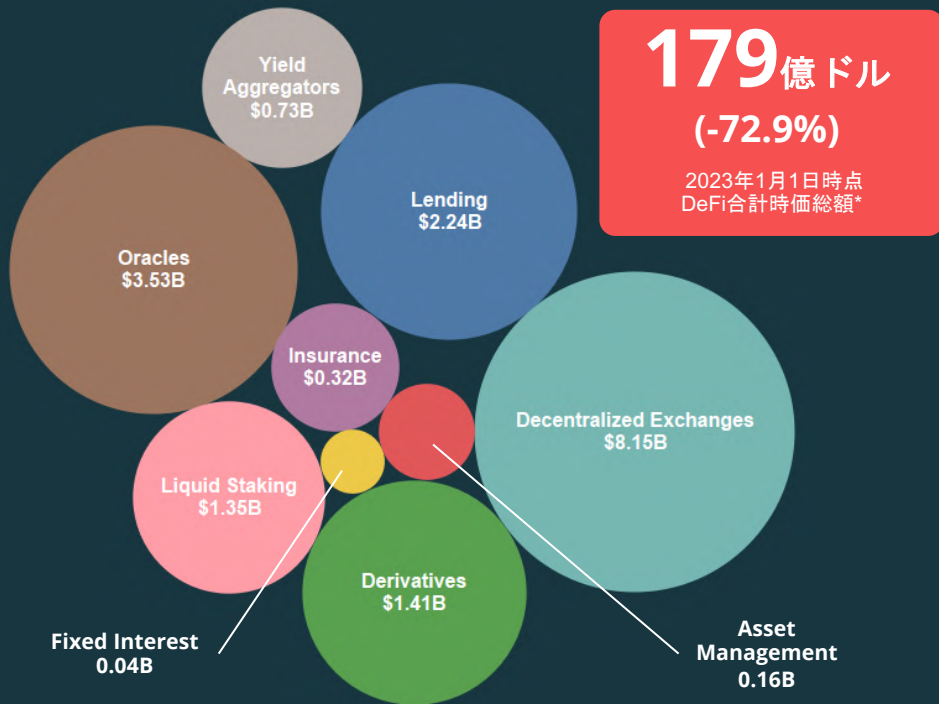
BNB ChainとTronは現在2位争いをしていますが、後者の勢いはQ2にローンチしたアルゴ・ステーブルコインUSDDによるものです。しかし、インセンティブが鈍化するにつれ、Tron全体から資本が徐々に流出し始めています。

Polygon、Arbitrum、Fantomなどの人気のあるEVMベースのネットワークやL2は踏ん張っている一方で、他のほとんどのアルトチェーンは大きく遅れをとっています。Aptos、Harmony、Cantoを含む149の他のネットワークは、全TVLのわずか8%しか占めていません。

ソース: Defillama  
 \*Monthly TVL is calculated by taking the average TVL on daily basis for each month.  
 \*After the collapse of Terra in May 2022, the original Terra network was renamed as Terra Classic.

## DeFiトークン時価総額が72.9%急落、デリバティブのシェアがイールドアグリゲーターを上回る

各DeFiカテゴリ 時価総額 (2022年Q4)



Market Share	Sector	YoY % Change
	<b>DeFi Tokens Market Cap</b>	<b>-72.9%</b>
▲ 45.4%	DEXs	-75.1%
▲ 19.7%	Oracles	-68.5%
▼ 12.5%	Lending	-80.5%
▲ 7.9%	Derivatives	-65.0%
▲ 7.5%	Liquid Staking	25.9%
▼ 4.1%	Yield Aggregators	-85.3%
▲ 1.8%	Insurance	-76.4%
▼ 0.9%	Asset Management	-45.5%
▼ 0.2%	Fixed Interest	-73.2%

2021年から、DeFiトークン時価総額は-73%縮小し、各種ガバナンストークンとユーティリティトークンは480億ドル以上の価値を失いました。ただし下半期にMergeのナラティブに後押しされたおかげで、リキッド・ステーキングは25.9%と最も減少幅が小さく、多少出血を食い止めることに成功しました。

一般的に、DeFiプロトコルの一足早いバブルでつけられた過大評価気味の評価額は、弱気市場突入によって他カテゴリ以上の大打撃を受けました。レンディングプロトコルとイールドアグリゲーターは今年最悪で、それぞれ80.5%と85.3%の下落を記録しています。Convex FinanceやAlchemixなどのプロトコルは、最大で95%の価格下落に見舞われました。

過去1年間、GMXやGains Networkなどの分散型パーペチュアルの人気急上昇によって、デリバティブはシェアでイールドアグリゲーターを上回りました。

ソース: CoinGecko

\* Categorical 時価総額 includes only governance and utility tokens (excluding stablecoins and wrapped tokens)

## 2022年 クロスチェーンブリッジ 流動性

クロスチェーンブリッジの流動性は、流出事件と破綻に満ちた市場で急落を続ける

最も高い流動性を誇る12のブリッジ（2023年1月1日現在）

ブリッジ	2022年Q4	2022年Q3	QoQ % 変化率
WBTC 	30億ドル	48億ドル	▼ 37.5%
JustCryptos 	20億ドル	23億ドル	▼ 13.0%
Multichain 	13億ドル	18億ドル	▼ 27.8%
Stargate 	3.85億ドル	4.89億ドル	▼ 21.3%
Poly Network 	2.89億ドル	3.09億ドル	▼ 6.5%
Portal 	2.42億ドル	4.37億ドル	▼ 44.6%
hBTC 	2.13億ドル	2.38億ドル	▼ 10.5%
Orbit Bridge 	1.73億ドル	2.72億ドル	▼ 36.4%
Synapse 	1.37億ドル	2.11億ドル	▼ 35.1%
Celer cBridge 	1.22億ドル	1.50億ドル	▼ 18.7%
Thorchain 	9400万ドル	1.06億ドル	▼ 11.3%
Terra Bridge 	7500万ドル	1460万ドル	▼ 48.6%

80.3億ドル  
(-69.3%)2023年1月1日時点  
クロスチェーンブリッジの流動性

WBTCはブリッジプロトコルのトップとして君臨していますが、その流動性はBTC価格とともに大幅に低下しています。2022年1月に121億ドルだったTVLは年末には75.2%減の30億ドルに、BTCは46,300から16,500まで64%の下落を記録しました。

Wormholeの3.25億ドル流出被害からだいぶ経ち、ブランド名を変えたPortal bridgeのTVLは、2022年5月のATH42.1億ドルから94%も急落し、かつての面影はありません。

FTXの終焉以来、Portalはさらに流動性を失い続け、2022年Q4にはさらに44.6%減の2.42億ドルにまで縮小しています。

Terraのブリッジも同様に、この四半期にさらに48.6%減少して7500万ドルとなり、明らかにあまり良い状況ではありません。2022年4月のATH14.7億ドル以来、TerraブリッジのTVLは95%減少しています。

ブリッジは昨年通してハッカーの主要なターゲットとなっており、数十億ドル相当の資産が奪われています。2022年、[Harmony](#)、[Nomad](#)、[BNB Bridge](#)などのクロスチェーンブリッジは、攻撃により合計19億ドル以上の損失を計上しました。今年の流出被害額トップ10のうち、その半数以上はブリッジが占めています。

# 2022年、価格低迷にも関わらず開発は続き、DeFiの重要性がこれまで以上に高まっている

### 分散型パーペチュアルの台頭



CEXがその健全性を巡って警戒の目を向けられ続ける中、より多くのユーザーは再びDeFiに集まり始め、DEXそして、分散型パーペチュアルプラットフォームを通し、自己資金の管理を維持しながらレバレッジ取引を継続することができています。

dYdXのような古いプロトコルは輝きを失いましたが、GMXのような次世代の分散型パーペチュアルはDeFiでの地位を確固たるものにしていきます。Arbitrumのトッププロトコルの1つであるGMXは、そのネイティブトークンが2022年のトップパフォーマンスの1つとなり、年初からTVLがほぼ5倍に増加しました。Gains NetworkやPolygonのMetavaultなど、今では他ネットワーク上でGMXフォークが複数誕生しています。

### クロスチェーンブリッジの進化



2021年のOmnichainナラティブの勃興期にクロスチェーンブリッジは貴重な存在でしたが、この1年で多くの壊滅的ハッキング事件により犠牲も生まれています。そのため、ブリッジのプロトコルはユーザーにより大きなアクセスとセキュリティを提供するため常に改善を続けています。複数のブリッジとDEXが提携し、例えばユーザーがLayerZeroを介して異なるネットワーク上のDEXアセットを取引できる、SushiXSwapのような新しいイノベーションもたらされています。また、HashflowはWormholeと提携し、MEVプロテクション付きのクロスチェーン取引をより低い手数料で提供しています。

2022年にブリッジが普及し続けるにつれ、クロスチェーンレンディングやクロスチェーンファーミングなど、この重要なインフラの上に構築されるサービスも増えてきました。後者はFarming-as-a-Service(FaaS)プラットフォームの主要機能となっており、プロトコルがネイティブネットワークを超えて最高のリターンを発見できるようになってきています。

### V3の年



Aave、Bancor、Compoundといった老舗DeFiプラットフォームらが次々にVersion 3をリリースし、ユーザーにさらなる機能性を提供し始めました。2022年は開発の年であったともいえるかもしれません。

3月、Aave V3が発表され、よりマイナーなアセットの取り扱いを可能にする隔離プール機能やクロスチェーン・レンディングの概念もたらされました。V3はまた、ユーザーが最大98%の担保率で担保資産と価格相関の高い別アセットを借りることができる高効率モードも導入しました。

Bancor V3は2022年5月にローンチされ、ユーザーがアセットをステーキングし、流動性を提供することがより容易になりました。Bancorの新しいデザインであるOmnipoolは、ユーザーがBNTを単一のプールにステーキングして、最も高い利回りを得ることを可能にします。

最後に、2022年8月にリリースされたCompound 3では、担保資産に供給上限を設定したり、貸出金利と借入金利の分離を実現しました。





**1inch**  
NETWORK

1inch is a global network of decentralized protocols designed to provide the most lucrative, fastest and secure operations in the DeFi space.



## 1inch Fusion

Tired of high gas costs on DEXes?  
Check out 1inch Fusion.

Fusion mode enables users to exchange tokens on DEXes without paying network fees, at the most favorable rates.

Fusion mode features:

- No gas fees
- MEV protection
- Ability to pre-set price and time ranges for swap orders to maximize trading efficiency



## 1inch Wallet

Your DeFi entry point.

A non-custodial mobile wallet that provides an easy-to-navigate interface with secure storing, transaction, and staking capabilities.

Try it on your  
phone or visit  
**1inch.io**



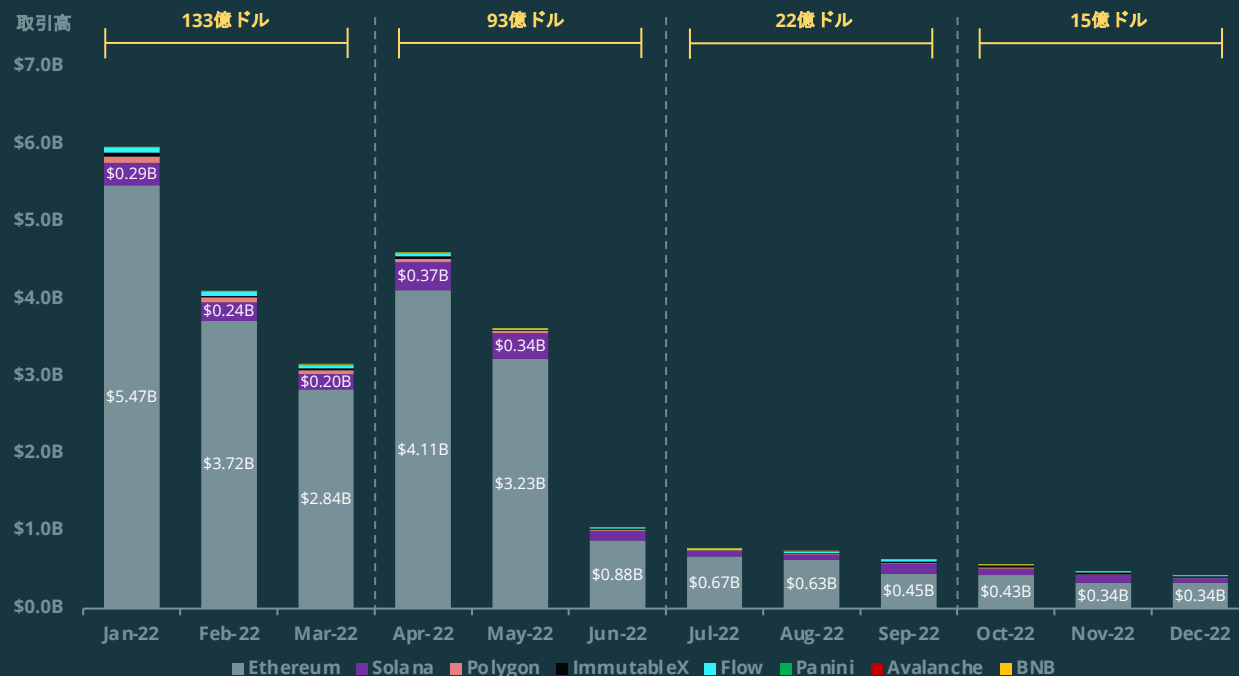
# NFTs



## 2022年 トップ8チェーンのNFT取引高

2022年、5月の暴落後特に、NFTの冬の寒さは厳しい。その惨状は以下グラフの通り。

トップ8チェーンのNFT 取引高 (2022年 1-12月)



# -93.1%

2022年 取引高減少率

NFT取引高は、5月に仮想通貨市場が急落して以来急激に減少しました。2022年12月には1月の月間取引高のわずか7%である4億ドルまで下落しています。

当然のことながら、Pudgy Penguins、Bored Apes、Azukisといった人気のブルーチップコレクションにより、2022年もEthereumベースのNFTが市場の90%以上を占有しています。

Roninは1月に1.26億ドルの二次販売を記録したものの、その後月次取引高は急落し続けています。2022年12月現在、月間取引高はわずか2万ドルで、トップ8から転落しています。

Polygonの取引高は、Reddit NFTの人気上昇により、10月に2倍の1500万ドルに達し、同チェーン合計の60%(900万ドル)を占めた。

ソース: [FootPrint Analytics](#); [Cryptoslam](#)

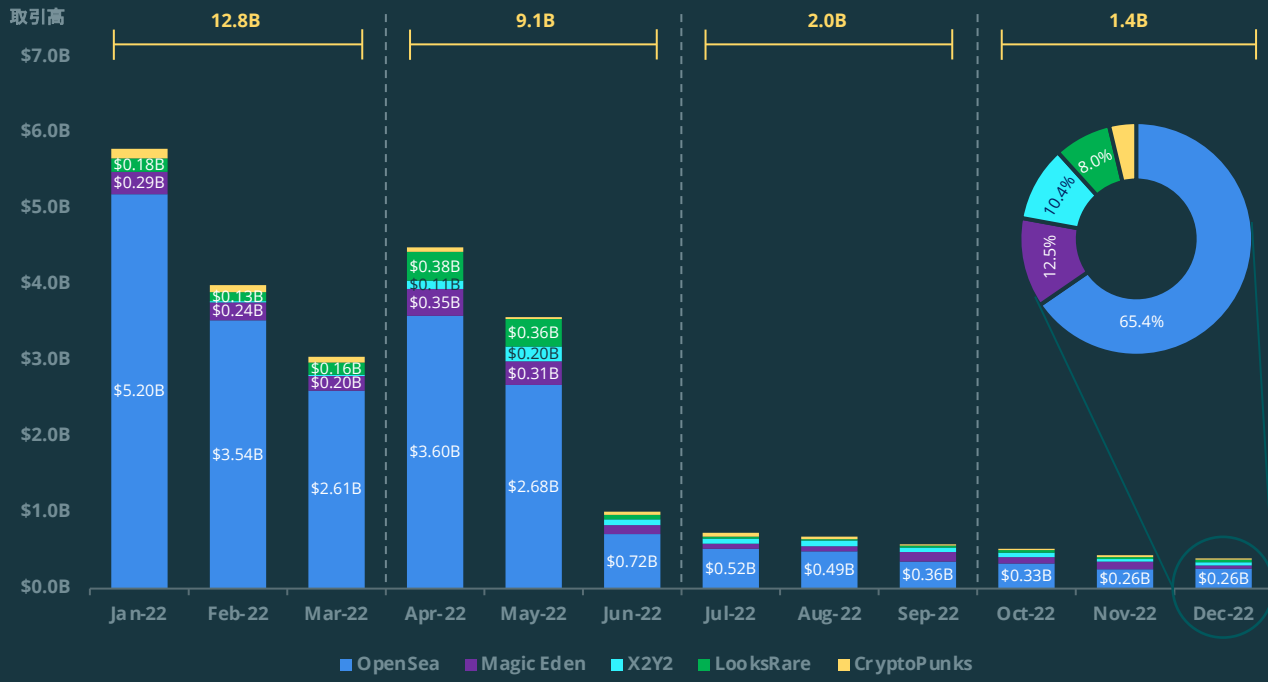
\*Wash trades on LooksRare and X2Y2 are excluded

\*\*Cardano has been excluded due to irregular trading behaviour

## 2022年 NFTプラットフォーム取引高

NFT初めての冬相場、OpenSeaのシェアは65.4%に低下したが、依然として圧倒的な強さを誇る

トップ5 NFTマーケットプレイス (2022年 1-12月)



**-93.2%**  
2022年 取引高減少率

2022年、LooksRareやX2Y2といった新たな参入者が、人気のコレクションを各プラットフォームで出品・取引するユーザーにインセンティブを与え、王座に君臨するOpenSeaに挑戦しようとしてきました。しかし、ユーザーはこれらの報酬を得るための仮想通貨に走るばかりでした。

LooksRareの1月単月の合計取引高の98.5%が仮想通貨でしたが、その割合は報酬発行量の減少により、2022年12月には76%にまで減少しています。

実質的な取引高では、OpenSeaが2022年末時点で65.4%を占め、依然として明らかに優位に立っています。しかし、1月以降はやや低下しました。というのも、Solana NFTの台頭により、Magic Edenが12.5%シェアを伸ばしたためです。

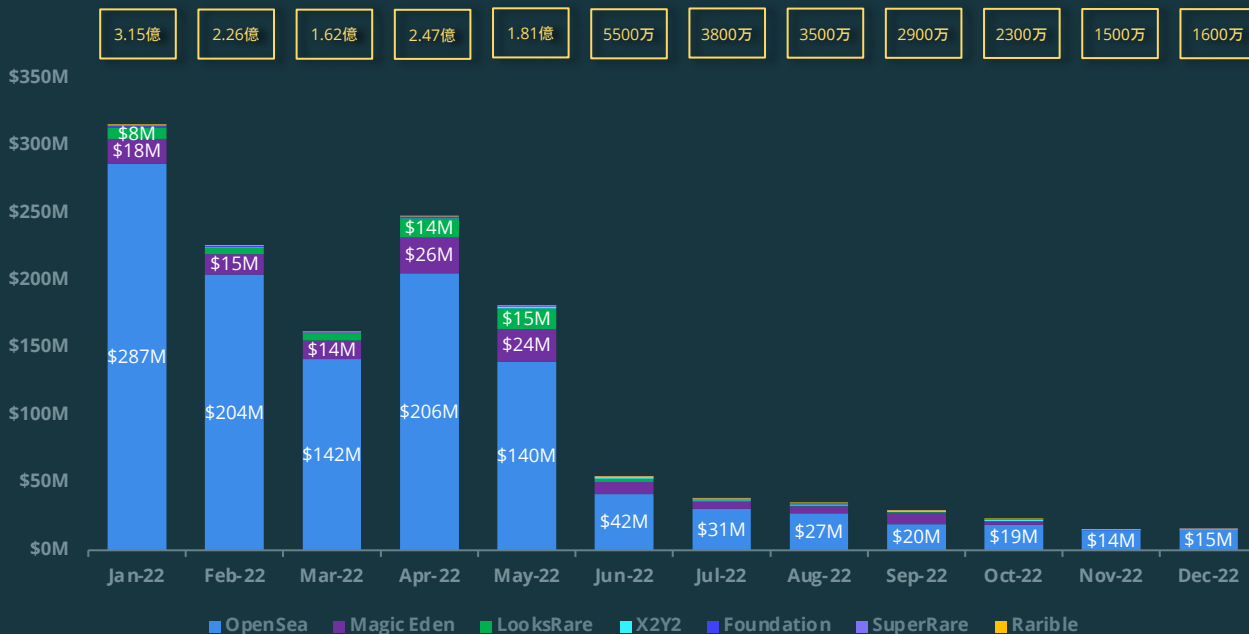
ソース: [FootPrint Analytics](#)  
\*OpenSea volumes include Ethereum, Polygon and Solana  
\*\*Wash trades on LooksRare and X2Y2 are excluded

## 2022年 NFTロイヤリティ

NFTの取引高減少に伴い、クリエイターのロイヤリティ額も減少している

トップ7 NFT マーケットプレイス ロイヤリティ額 (2022年)

合計ロイヤリティ額 (ドル)



13億ドル

2022年 NFTクリエイターへの  
ロイヤリティ額

NFT取引高の減少に伴い、クリエイター・ロイヤリティも2022年中に95%減少しました。

OpenSeaはNFT市場を支配しており、2022年には全ロイヤリティの85%を占め、クリエイターは合計11.5億ドルを獲得することができました。

ロイヤリティは市場の効率化により段階的に廃止され、クリエイターにとって持続可能な収入源ではなくなるというコンセンサスが高まっています。Sudoswapが非ロイヤリティ・モデルを開始し、他のマーケットプレイスもこれに追随したり、投資家に"支払わない"という選択肢を提供しています。

OpenSeaは、ロイヤリティについてはクリエイターの判断に任せ、必要であればロイヤリティを強制するツールを提供するというスタンスで一貫している。

## 2022年 注目のNFTコレクション

# NFTの冬は過酷ですが、Pudgy Penguins、Yuga Labs、RTFKT、Reddit NFTs、ENS、DeGodsには2022年に獲得した確かな生存戦略と展望がある

### Penguinsは新しいリーダーを迎えてパワーアップ



- PudgiesはOG NFTコレクションとして愛されてきましたが、設立時のプロジェクトチームには多くの悪評がありました。今年初め、Luca Netzが同プロジェクトを買収・引き継ぎを行います。それ以来、新チームは、Pudgy Mediaやオモチャを皮切りに、Pudgy IPを拡大するプロジェクトを展開していきました。
- Pudgy Penguins、Lil Pudgies、Pudgy Rodsのフロア価格は、買収後ますます好調で、仮想通貨の冬には稀有な事例となっています。



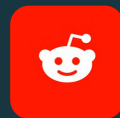
### Yuga、Punks（とMeebits!）を解放し、Metaverseに押し込む

- 2022年、BAYCを所有するYuga Labsは、3月にCryptoPunksとMeebitsを買収し、IPの所有権をNFT保有者に移譲することでNFTのリーダーとしての地位を固めました。
- また、野心的なメタパスプロジェクトOthersideやApeCoin、その他複数のプロダクトを発表しています。これまでの道のりは決して順風満帆ではありませんでしたが、NFT市場に対するYugaの影響力は否定できず、大きな注目を集めることは間違いないだろう。

### RTFKT x NikeはPhygital Experimentsを継続



- RTFKTのCloneX、MNLTH、CryptoKicksコレクションは、独自の「ミント」手法、すなわちNFTスニーカーを補完する物理的スニーカーを製造・提供する仕組みによって大ヒットしました。同社は2021年12月にNikeに買収され、メタパス構想の指揮を執ることになりました。
- 2022年、Clone X Forging SZN 1コレクションは、そのPhygital(Physical + Digital)プロダクトを拡大せんと、他のブランドにも同じ手法を真似するように促しました。



### デジタル・コレクティブルの仲間入り

- Reddit NFTsは、今年Q4の冬相場の真っ只中に突然コレクションが軌道に乗り、サプライズとなりました。Redditが人気Redditクリエイターと限定コラボしたアバターを販売し、300万人以上のRedditユーザーがこっそりとNFTホルダーとなったのです。
- このコレクションの成功は、NFTが従来のブランドにもシームレスに導入可能だということをより強く証明するものです。

### 3文字ハイプがENSの登録数を押し上げる



- ENSドメインは今ではすっかり普及していますが、2017年にローンチして以来、実は長い道のりを歩んできました。その初期の成功は、NFTのサブカテゴリを生み出し、また、すべてのチェーンで多くの競争を生み出しました。
- 2022年半ばの3文字ハイプは、最も価値のあるドメインの取り合いを再燃させ、全ENSの80%が2022年に登録されたものとなりました。



### DeGodsがSolana NFTsをリードし、今度は混乱に陥れる

- Solana NFTsが脚光を浴びたこの年、DeGodsはその最も目立つコレクションで、DUSTトークンと姉妹コレクションy00tsをバックにカルト的な人気を博していました。
- しかし、FTX崩壊後のSolanaを取り巻く不確実性の中、このプロジェクトは2023年にPolygonとEthereumにブリッジするという爆弾発表を行い、できたばかりのコミュニティは混乱に陥りました。

## 2022年 GameFiハイライト

# Play-to-EarnやMove-to-Earnのハイプは終わったが、GameFiプロジェクトは真新しいコンテンツと遊び方を開拓・提供し続けた

初代ゲームの魅力は急落したが、新しいゲームも登場する



2021年のPlay-to-Earn (P2E) の成功によりGameFiは飛躍的に成長し注目を集めました。2022年のクリプト・ゲームは、プレイヤーが儲からなければ全く価値のない退屈なものでほとんど埋め尽くされていました。Axie Infinity、DeFi Kingdoms、Crabadaなどの第一世代のP2Eゲームは、毎日何千人ものプレイヤーを集めていましたが、未熟なトークノミクスによる極端なインフレと市場環境の悪化によりプレイヤーの報酬が急落し続け、その魅力を失いました。

しかし、一般的な大ヒットゲームに匹敵するブロックチェーン・ゲームを構築しているプロジェクトはまだ多く存在します。Big TimeやIlluviumといったプロジェクトは、定期的なアップデートを行い続け、既にベータ・バージョンをリリースしているプロジェクトの一例です。しかし、これらのゲームが本格的にローンチされるまでには、まだ時間がかかると考えられます。

Move-to-Earnの栄枯盛衰



P2Eの成功は、読書や執筆、さらにはウォーキングなどのタスクに報酬を与えるという、日常活動のゲーミフィケーションというムーブメントを巻き起こしました。NFTスニーカーで歩いたり走ったりすることでトークン報酬を獲得できるMove-to-Earn (M2E) というコンセプトは、2022年最大のトレンドの一つと言っても過言ではありません。

STEPNやGenopetsといった注目すべきプロジェクトが業界の最前線に立ち、ビデオゲーム風のアプローチでユーザーに健康的なライフスタイルを取り入れるようなインセンティブを与えていました。STEPNはピーク時に100万人以上の登録ユーザーを記録し、2022年5月には76,000人のDAUを記録しました。ガバナンストークンであるGMTの価格も28倍の3.83に上昇しました。

しかし、M2Eの人気は長くは続かず、GameFiを苦しめたのと同じ、過度な報酬分配インフレ問題に直面しました。報酬の価値が下がり続けたため、ユーザーはM2Eから急速に離れ、STEPNに残っているアクティブユーザーは5,000人を下回るようになりました。

Ethereum外のGamiFiにとって魔法の年



2021年はSolanaとAvalancheのGameFiプロジェクトが人気を集めました。2022年は厳しい市場環境にもかかわらず、他のネットワークのゲームが支持を集め始めました。

Arbitrumでは、TreasureDAOが1月に初のストラテジーゲーム「BridgeWorld」をローンチし、また複数の新しいゲームをそのエコシステムに統合しました。Treasure上の新参の1つであるThe Beaconは、2022年11月末にRPGゲームのプロトタイプをリリースし、20日間で26,000人以上のプレイヤーを集めました。

ImmutableXでは、Gods Unchainedが過去1年間、毎日1万人以上のユニークプレイヤーを集め、クリプトゲーマーを魅了し続けています。Gods Unchainedカードの二時販売取引高は4倍以上の9020ドルに増加していたのですが、実はこのほとんどは、IMXトークン報酬を得るための仮想通貨取引だったと考えられます。



CoinGecko ビジネス向けAPI

## NFTのマーケットの データトラッキングに興味がありますか？

CoinGeckoのエンタープライズAPIは、CoinGecko.comと同じインフラストラクチャーをベースに構築されています。

当社の REST API は、当社の広範で拡大し続ける取引所及び仮想通貨リストから、過去及びリアルタイムのデータへの簡易的なアクセスを提供します。

世界をリードする何百もの仮想通貨取引所やプロダクトから信頼されている当社のAPIは、信頼性の高い正確なデータであなたのプロジェクトをサポートします。

1ヶ月無料

GeckosのAnalyst APIサブスクリプション

以下のプロモコードで今すぐお申し込みください：

**WELCOME2023**

[サインアップ](#)

\*プロモーションは2023年1月31日まで有効です。プロモコードは、新規のサブスクリプションにのみ適用され、既登録者には、129ドルのディスカウントをAnalyst APIを月額/年額サブスクリプションに適用可能です。



### 対応NFT一覧

Ethereum、Avalanche、Optimism、Polygon、Klaytn、Arbitrumなど複数のチェーンでサポートされています。



### リアルタイム・マーケットデータ

NFTコレクションの画像、説明、合計供給量、フロア価格など、現在の市場データを検索できます。



### ヒストリカルマーケットデータ

NFTコレクションの過去マーケットデータ（フロア価格履歴、時価総額履歴、ボリューム履歴など）を検索・閲覧できます。



### 仮想通貨資産、取引所、デリバティブに関連する 30以上のエンドポイント

ライブ価格、取引高、ティックー、取引所、履歴データ、コイン情報、グローバル市場など、幅広いマーケットデータにアクセスできます。

# 取引所

## 2022年 トップ10取引所

現物取引高は2022年1月から67.3%縮小、Q3-4は-21.2%と最大の減少幅を記録

トップ10仮想通貨取引所(CEX+DEX) 取引高 (2022年 1-12月)

**-21.2%**トップ10取引所(CEX+DEX)  
2022年Q3-4 合計取引高 減少率

仮想通貨市場は、Q3からQ4にかけて合計取引高が前四半期比21.2%減少し、年間最大の低下となり、2022年を閉じました。特に12月はFTXの破綻に起因する混乱により、悲惨な結果となっています。

中央集権的なリスクを公然と示しているにもかかわらず、CEX：DEXの比率は一貫して高まっています。2022年末時点では、CEXが市場の93%を占めています。Binanceの破綻に関するFUDにより、11月にDEXのシェアが若干上昇しましたが、2022年末時点ではCEXのシェアが92.5%となっています。

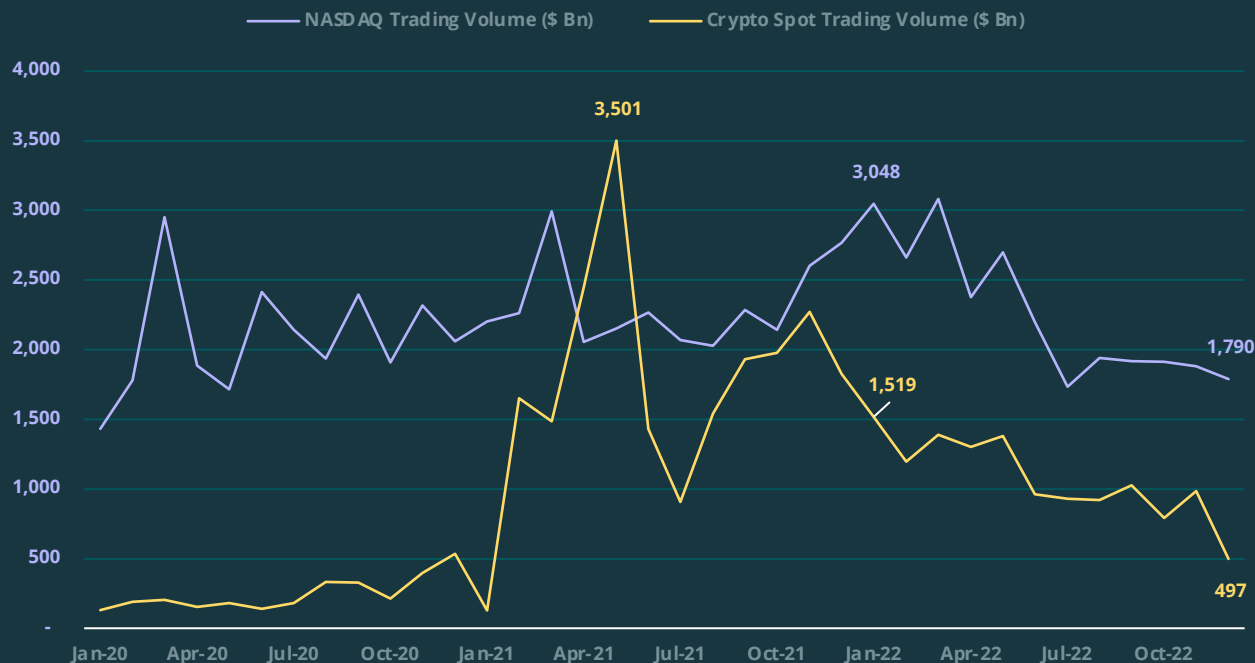
出来高の減少は、投資家の取引意欲低下あるいは完全撤退した証拠とも言えます。



## 2022年 現物取引高: 仮想通貨 vs 株式

### 2022年仮想通貨の現物取引高は減少したが、NASDAQの株式取引高も同様の傾向を示す

NASDAQ vs 仮想通貨 現物取引高 (2020年1月 - 2022年12月)



# -67.3%

トップ10取引所(CEX+DEX)  
2022年 合計取引高 減少率

仮想通貨の現物取引高は、2021年初頭の強気相場で急増しましたが、それ以降は下落傾向にあります。2021年4月のピーク時には3兆5,000億ドルに達し、NASDAQのそれを超えるまでになっていました。

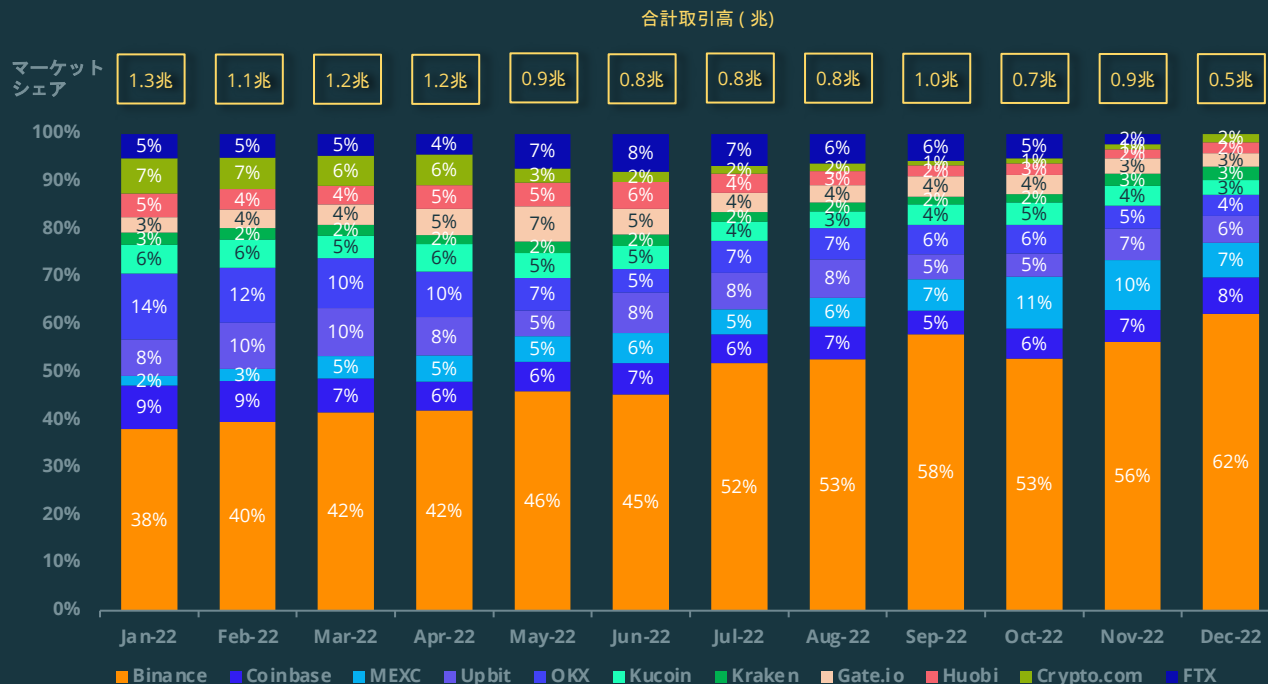
NASDAQの株式市場の取引高も同様に2022年に41%減少していますが、仮想通貨の現物市場と比較するとそれほどではありません。

2022年の両市場における取引高ボラティリティは、2022年Q4までの市場動向とほぼ一致していました。両市場の取引高相関は2022年に0.87となっています。

## 2022年 トップ10CEX(中央集権型取引所)

### FTXの終焉はBinanceの勝利を意味する - 我々は何も学ばなかったのか？

トップ10CEX 取引高内訳 (2022年 1-12月)



**-19.8%**  
 トップ10CEX  
 2022年Q3-4 合計取引高 減少率

トップ10のCEXは、2022年Q4に2.11兆ドルの現物取引高を記録し、2020年後半から2四半期連続で3兆ドルを下回りました。

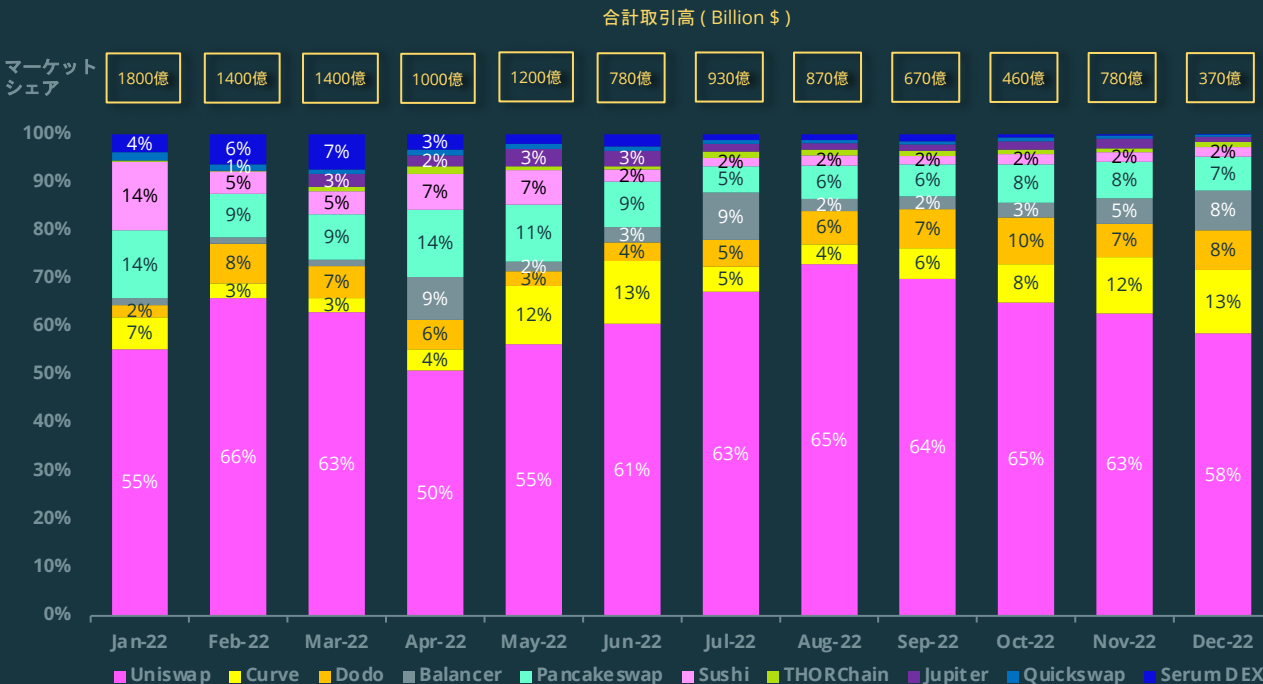
FTXは終焉を迎える前、2022年の現物市場シェアは~5%でした。しかし、11月下旬の出金停止以降、Binanceを主に、Coinbase、Huobi、Crypto.comなど4つの取引所がそのシェアを分け合い増加させました。

ユーザーは、「顔の見えるオフショア取引所」あるいは「規制に準拠した取引所」に回避しています。前者はCZが主導するBinance、Justin Sunが12月に買収したHuobiです。対して後者のCoinbaseは米国で、Crypto.comは英国で規制されています。

## 2022年 トップ10DEX(分散型取引所)

### Q4はカーブが最大のシェア上昇率、底打ちのシグナルか？

トップ10 DEX 取引高内訳 (2022年 1-12月)



-14.6%

トップ10DEX  
 2022年Q3-4 合計取引高 減少率

トップ10DEXは2022年Q3に合計1607億ドル、月平均540億ドルの取引高を記録しました。これは2021年以前以来の取引高です。

市場参加者がこぞってステーブルコインに回避したため、Q4DEXの中で最もシェアを伸ばしたのはCurveでした。12月末には6%から13%へとシェアを増加させました。

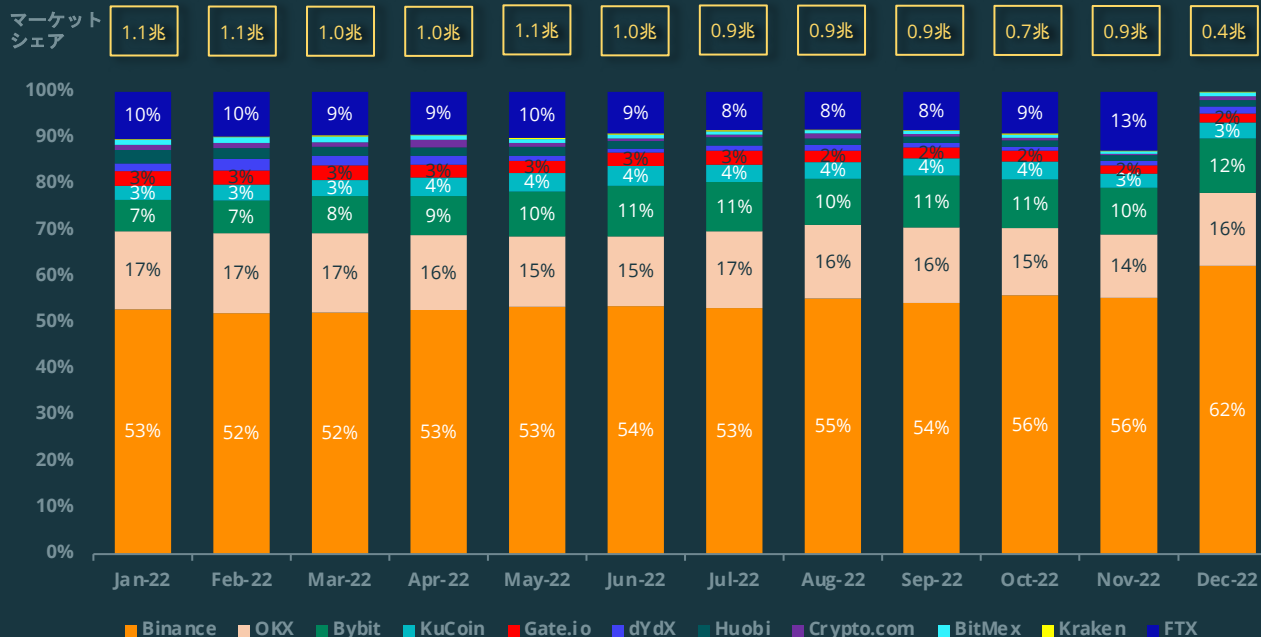
このCurve優位の流れは、Terra崩壊後の6月にも発生しており、この時期のローカルボトムをマークしていたことに注目すべきです。もしかしたら、これはある種底打ちのシグナルかもしれません。

# 2022年 デリバティブ取引所 - 無期限先物 取引高

## ここでもBinanceが勝利、しかしOKXとBybitも上昇を見せた

月次集計 無期限先物 取引高 ドミナンス(2022年 1-12月)

合計取引高 (兆ドル)



**-31.2%**  
 トップ10無期限先物取引所  
 2022年Q3-4 合計取引高 減少率

無期限先物取引高は、市場が横ばいになり取引が難しくなったため、現物取引よりもさらに急激に減少しました。無期限先物はアクティブなトレーダーに好まれてきましたが、流動性が低下し魅力的を失ったのです。

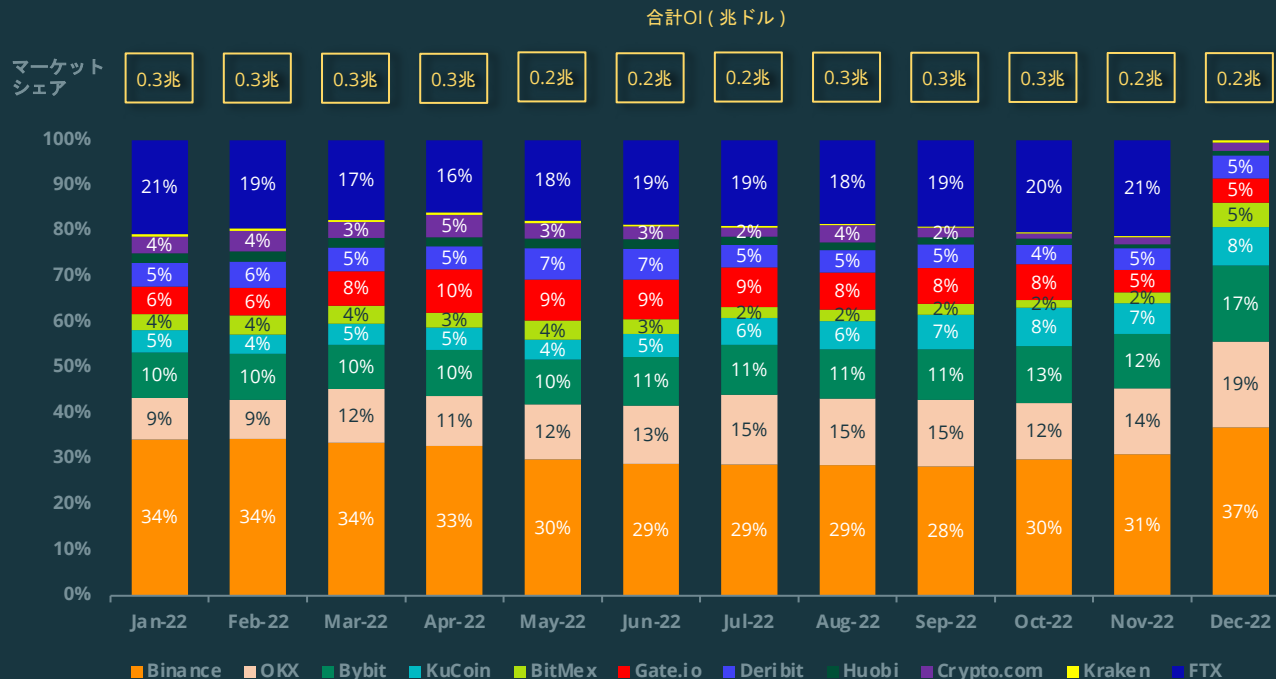
取引所間の相対的な市場シェアとその位置づけは、年末までほとんど変わりませんでした。しかし、FTXの終焉後、状況は一変し、BinanceはFTXの取引のほとんどを吸収したのです。FTXが第3位であったことを考えると、この獲得は大きなものです。

Binanceは現在、Perp市場の62%を占めており、そのシェアは過去最大となっています。

## 2022年 デリバティブ取引所 - 無期限先物オープンタレスト

FTXのOIは、Binance、OKX、Bybitに移行。

月間オープンインタレスト残高 マーケットシェア (2022年 1-12月)



**-11.3%**

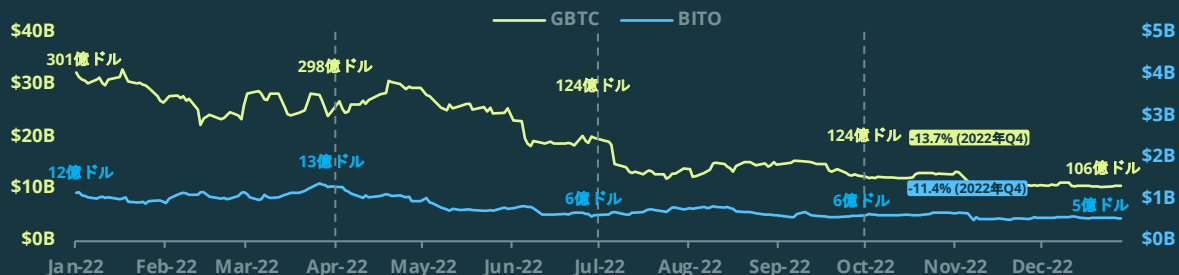
トップ10無期限先物取引所  
2022年Q3-4 月次OI 減少率

2022年Q4のトップ10デリバティブ取引所全体のオープンインタレスト(OI)は0.7兆ドルで、Q3(0.78兆ドル)からやや減少しました。全体として、2022年は横ばいの中でOIがゆっくりと、しかし確実に減少した年でした。

FTXのOIは5分の1近く減少し、その分は他の取引所にほぼ移行しています。このため、Binance、OKX、BybitのOIは増加しましたが、他の取引所では比較的横ばいでした。

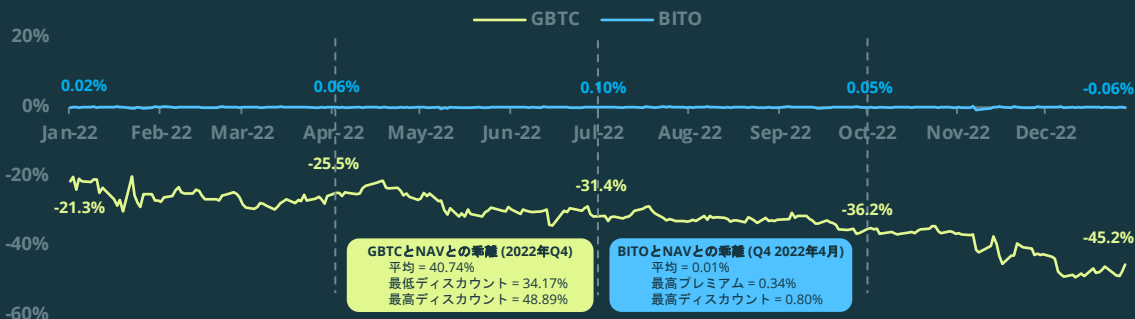
## GBTCディスカウントは拡大し続け、関連レンディング企業Genesisの危機は継続、清算の懸念も

GBTC & BITO 合計AUM(運用資産残高) (2022年 1-12月)



BITO と GBTC の合計AUM(運用資産残高)は、仮想通貨市場と同じように減少しています。GBTCは67.1%減、BITOは52.7%減で今年を終えました。

GBTC及びBITO 対NAV(純資産総額) プレミアム/ディスカウント (2022年 1-12月)



GBTCは、現物BitcoinETF申請を幾度も拒否するSECを訴える予定でしたが、ほとんど進展はありません。むしろ、SECが信託をETF化しないという決定を下したことは、最近の騒動を考慮すると、DCGIにとっては不幸中の幸いかもしれません。

GBTCのNAVディスカウントが拡大するにつれ、投資家はGenesis親会社のDCGの財務的健全性を心配し始めています。12月、NAVディスカウントは一時49%に達しました。GBTCが償還ができないという問題は常に取りましたが、今は2社間の資産混在とGenesis/DCGの無謀な融資について、さらに大きな懸念があります。

## トラストスコア3.0 - Proof Of Reserve

仮想通貨業界の透明性を向上させ、実用的な洞察およびデータを提供します。

2022年を通じて得た教訓をもとに、Trust Scoreをもう一度バージョンアップします。





Trust Scoreは、Reservesデータ + Reserves監査の有無を考慮し、取引所をランク付けするようになりました。

もっと読みたい方は、[こちらのブログ記事](#)をご覧ください。

### Top Crypto Exchanges Ranked by Trust Score

As of today, we track 571 crypto exchanges with a total 24h trading volume of \$69.1 Billion, a -33.39% change in the last 24 hours. Currently, the 3 largest crypto exchanges are Binance, OKX, and KuCoin. Total tracked crypto exchange reserves currently stands at \$83.8 Billion

All Countries

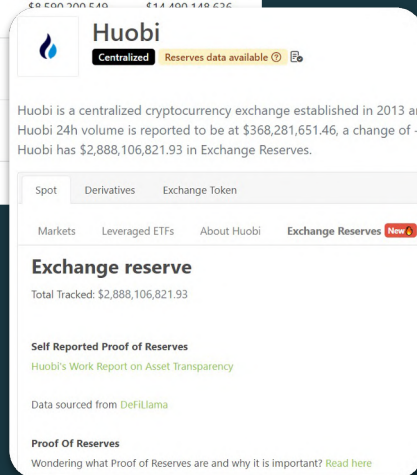
#	Exchange	Trust Score	Reserves Data	24h Volume (Normalized)	24h Volume
1	 <b>Binance</b> Centralized	10	Available		
2	 <b>OKX</b> Centralized	10	Available		
3	 <b>KuCoin</b> Centralized	10	Available		
4	 <b>Bybit</b> Centralized	10	Available		

#### ステージ1 - Reservesデータ

- Reserves データ (owned)
- Audits (reserves related)

#### ステージ2 - 負債 [WIP, Q4 2023]

- 負債 (負債/顧客預入残高)
- 自己証明メカニズム



**Huobi**  
Centralized Reserves data available

Huobi is a centralized cryptocurrency exchange established in 2013 and its 24h volume is reported to be at \$368,281,651.46, a change of -33.39% in the last 24 hours. Huobi has \$2,888,106,821.93 in Exchange Reserves.

Exchange reserve  
Total Tracked: \$2,888,106,821.93

Self Reported Proof of Reserves  
Huobi's Work Report on Asset Transparency

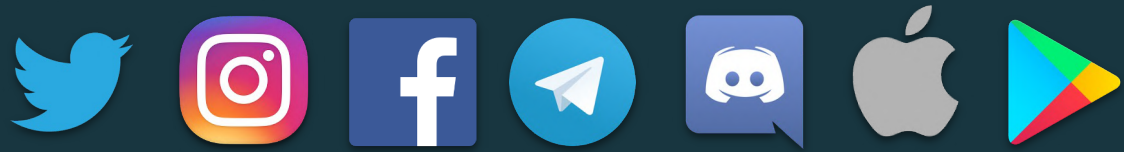
Data sourced from DeFiLlama

Proof Of Reserves  
Wondering what Proof of Reserves are and why it is important? [Read here](#)

Data ソースd from [GeckoTerminal](#) + [DeFiLlama](#)



フォローをよろしくお願いします！







以上です！！ご拝読ありがとうございました：)